

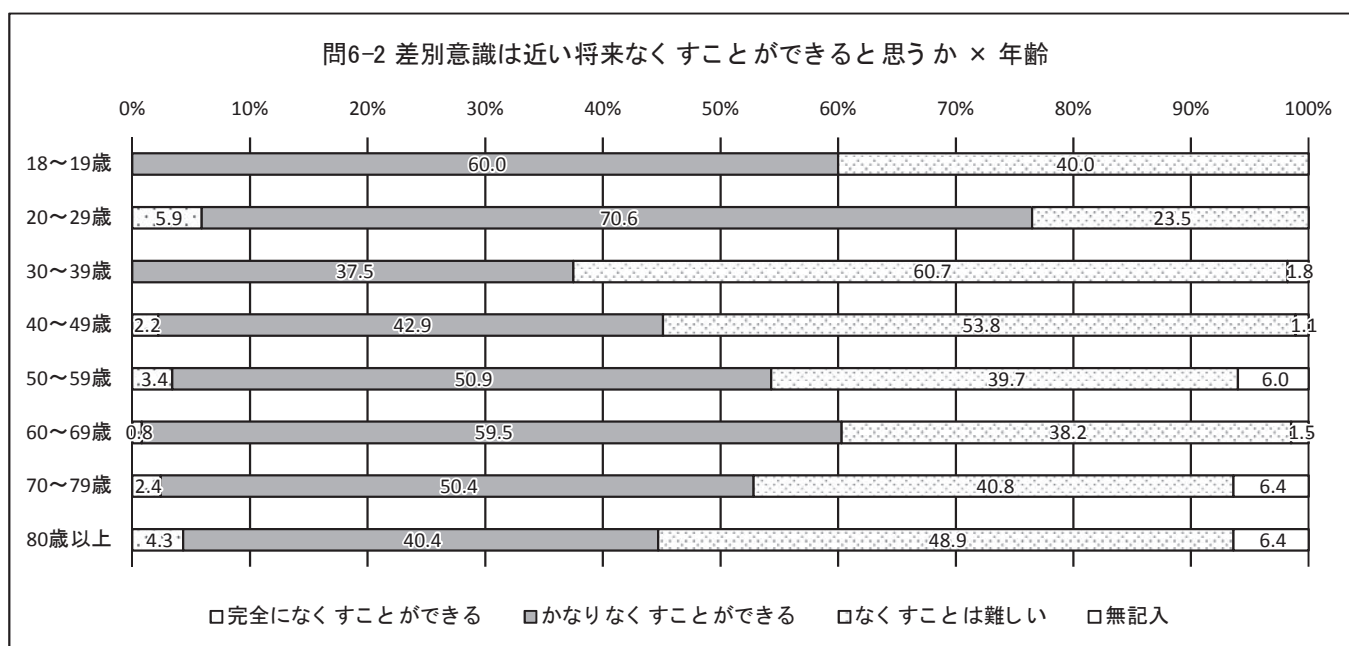
## 問 6-2 差別意識は近い将来なくすことができると思いますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	完全になくすことができる	13	2.2	2.3	2.7
2	かなりなくすことができる	297	50.0	51.9	49.6
3	なくすことは難しい	262	44.1	45.8	44.2
	無記入	22	3.7		3.5
	N ( %ベース)	594	100	572	791

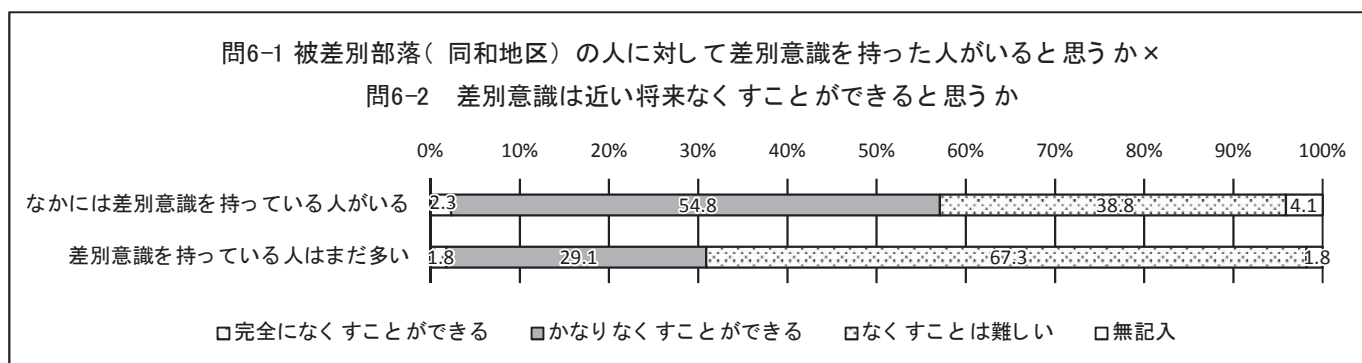
「(質問 6-1 で「3 または 4」を選んだ方に)あなたは、差別意識は近い将来なくすことができると思いますか。」について、「完全になくすことができる」13 人 2.2%(2.3%)、「かなりなくすことができる」297 人 50.0%(51.9%)、「なくすことは難しい」262 人 44.1%(45.8%)「無記入」22 人 3.7%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査とほとんど変化はありません。

10 の説明変数による名義尺度回帰分析は対象数が少なくなったため、有意ではありません。カイ二乗検定で 10 の説明変数との関連を見ましたが有意な結果は出ませんでした。有意水準には達しませんが、年齢とかなり関連があります。



「かなりなくすことができる」が、18～19 歳で 60.0%、20 歳代で 70.6%と高いのですが、30 歳代で 37.5%と低くなっています。30 歳代で「なくすことは難しい」が 60.7%と高くなっています。60 歳代で「かなりなくすことができる」が 59.5%と高くなっています。



「かなりなくすことができる」は、なかには差別意識を持っている人がいると考える人では 54.8%、差別意識を持っている人はまだ多いでは 29.1%となっています。「なくすことは難しい」は、なかには差別意識を持っている人がいると考える人では 38.8%、差別意識を持っている人はまだ多いでは 67.3%となっています。

### 問 6-3 部落差別問題(同和問題)を初めて知ったきっかけは何ですか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査	全国調査
6	学校の授業	475	30.9	33.6	24.0	27.8
1	家族(祖父母、父母、兄弟等)	270	17.5	19.1	22.1	16.3
7	テレビ・ラジオ・新聞・本等	106	6.9	7.5	9.4	15.5
11	きっかけは覚えていない	105	6.8	7.4	9.7	10.4
9	部落差別問題の集会や研修会	101	6.6	7.1	6.7	2.7
13	部落差別問題を知らない	88	5.7	6.2	4.3	10.6
10	県や市町村の広報紙やパンフレット等	69	4.5	4.9	6.2	1.7
4	職場の人	58	3.8	4.1	3.0	3.7
3	近所の人	46	3.0	3.3	3.7	1.5
5	学校の友だち	37	2.4	2.6	1.8	2.6
12	その他	22	1.4	1.6	2.3	1.1
2	親戚	19	1.2	1.3	0.9	1.2
8	インターネット	17	1.1	1.2	0.4	3.1
	無記入	126	8.2		5.7	1.7
	N (%ベース)	1,539	100	1,413	1,996	1,556

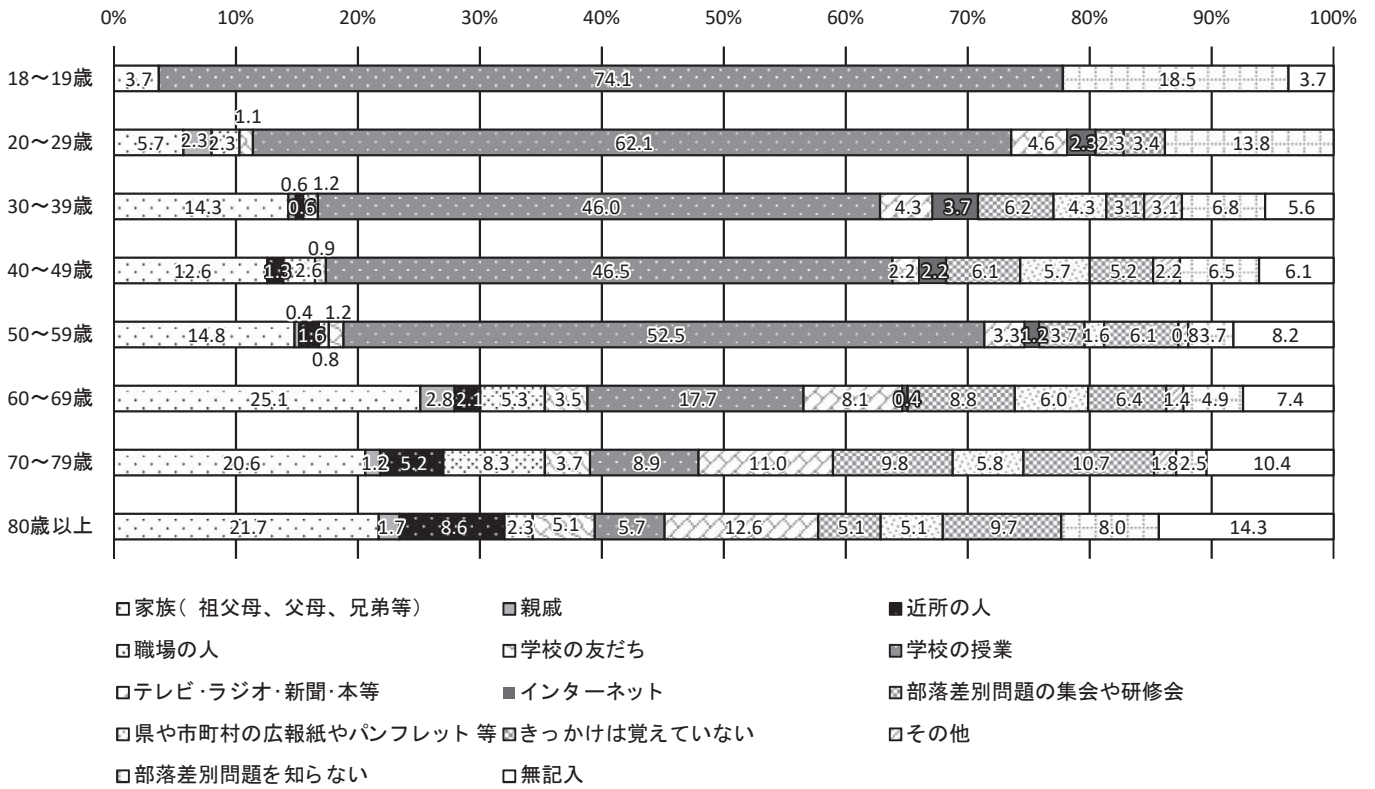
「あなたが部落差別問題(同和問題)を初めて知ったきっかけは何ですか。」について、1位「6.学校の授業で習った」475人 30.9%(33.6%)、2位「1.家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた」270人 17.5%(19.1%)、3位「7.テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」106人 6.9%(7.5%)、4位「11.部落差別問題は知っているがきっかけは覚えていない」105人 6.8%(7.4%)、5位「9.部落差別問題の集会や研修会で知った」101人 6.6%(7.1%)、6位「13.部落差別問題を知らない」88人 5.7%(6.2%)、7位「10.県や市町村の広報紙やパンフレット等で知った」69人 4.5%(4.9%)、8位「4.職場の人から聞いた」58人 3.8%(4.1%)、9位「3.近所の人から聞いた」46人 3.0%(3.3%)、10位「5.学校の友だちから聞いた」37人 2.4%(2.6%)、11位「12.その他」22人 1.4%(1.6%)、12位「2.親戚の人から聞いた」19人 1.2%(1.3%)、13位「8.インターネットで知った」17人 1.1%(1.2%)、「無記入」126人 8.2%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、1位「学校の授業で習った」が6.9%、6位「部落差別問題を知らない」が1.4%高くなっています。2位「家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた」が4.6%、4位「部落差別問題は知っているがきっかけは覚えていない」が2.9%、3位「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」が2.5%、7位「県や市町村の広報紙やパンフレット等で知った」が1.7%低くなっています。

全国調査と比べ、1位「学校の授業で習った」が3.1%、5位「部落差別問題の集会や研修会で知った」が3.9%、7位「県や市町村の広報紙やパンフレット等で知った」が2.8%高くなっています。3位「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」が8.6%、6位「部落差別問題を知らない」が4.9%、4位「部落差別問題は知っているがきっかけは覚えていない」が3.6%低くなっています。

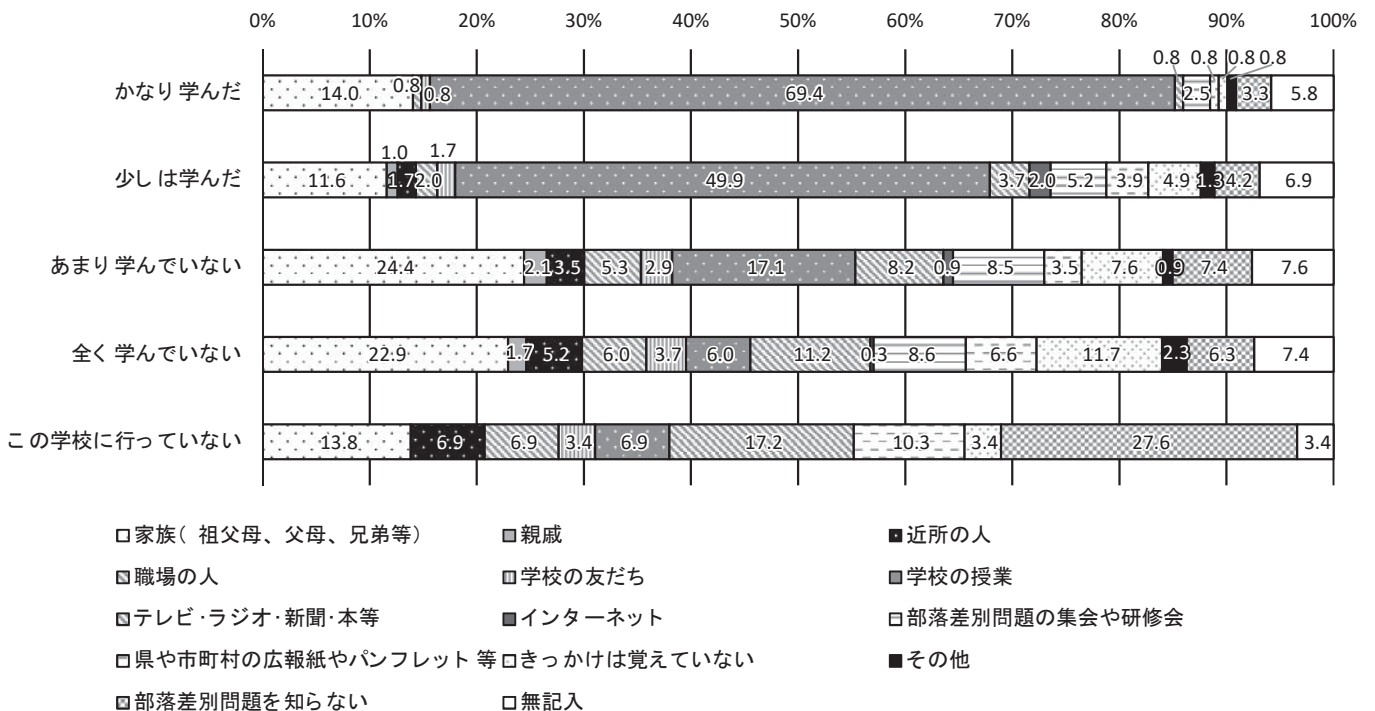
部落差別を知ったきっかけと10の説明変数との多重相関は0.479とかなり強い関連で、有意な分析です。年齢と小学校での人権教育の関連性が高くなっています。広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴、人権に関する講演会や研修会等への参加では有意な関連はありません。

問6-3 部落差別問題（同和問題）を初めて知ったきっかけ × 年齢



「学校の授業で習った」が18～19歳で74.1%、80歳以上では5.7%と若い人ほど高くなっています。「家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた」が18～19歳3.7%、80歳以上21.7%と若い人で少なくなっています。しかし、「部落差別問題を知らない」が、18～19歳18.5%に対して、70歳代2.5%、80歳以上8.0%と、若い人ほど高くなっています。「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」は80歳代の12.6%が最も高く、若い人ほど少なくなっています。「インターネットで知った」は30歳代が3.7%と最も高く、若い人でもそれほど多くはありません。

問6-3 部落差別問題（同和問題）を初めて知ったきっかけ × 問9(1) 小学校での人権教育



「学校の授業で習った」が、小学校で人権教育をかなり学んだ人で 69.4%、少しは学んだ人で 49.9%、あまり学んでいない人で 17.1%、全く学んでいない人で 6.0%、この学校に行っていない人で 6.9%とはっきりとした違いがあります。小学校で学んだ人ほど、「部落差別問題を知らない」は少なくなっています。小学校で学んだ人ほど、「家族(祖父母、父母、兄弟等)」から聞いたが少なくなっています。

#### 問 6-4 部落差別問題(同和問題)として、現在、どのような問題が起きていると思いますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査	全国調査
2	結婚に反対される	546	41.2	45.2	46.0	40.4
11	わからない	336	25.4	27.8	23.2	
6	身元調査	327	24.7	27.1	28.3	24.3
4	差別的な言動	279	21.1	23.1	19.2	32.3
1	誹謗中傷やいじめ	237	17.9	19.6		
3	就職・職場での不利な扱い	230	17.4	19.0	18.1	27.5
7	インターネットへの差別的な情報の掲載	148	11.2	12.3		14.9
8	えせ同和行為	137	10.3	11.3	10.7	12.0
10	特に問題はない	97	7.3	8.0	12.0	24.3
5	差別的な落書き	70	5.3	5.8	5.8	12.5
9	その他	10	0.8	0.8	6.0	1.6
	無記入	117	8.8		1.3	5.5
	N (%ベース)	1,325	100.0	1,208	1,796	1,364

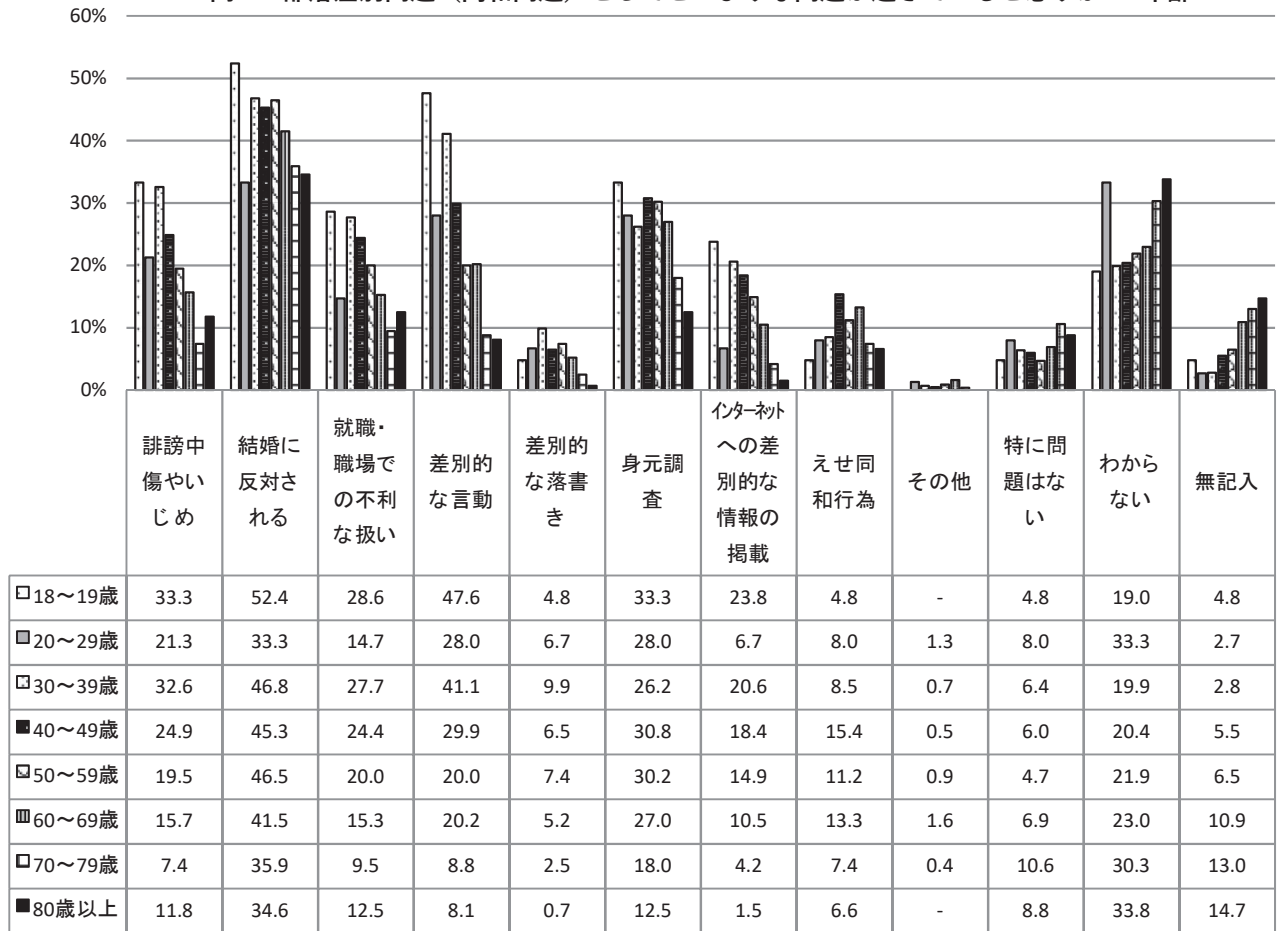
「(質問 6-3 で 1~12 を選んだ方に)あなたは、部落差別問題(同和問題)として、現在、どのような問題が起きていると思いますか。(複数回答可)」について、1 位「2.結婚問題で周囲の反対を受けること」546 人 41.2%(45.2%)、2 位「11.わからない」336 人 25.4%(27.8%)、3 位「6.身元調査をされること」327 人 24.7%(27.1%)、4 位「4.差別的な言動をされること」279 人 21.1%(23.1%)、5 位「1.職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること」237 人 17.9%(19.6%)、6 位「3.就職・職場で不利な扱いをされること」230 人 17.4%(19.0%)、7 位「7.インターネットを利用して差別的な情報を掲載されること」148 人 11.2%(12.3%)、8 位「8.えせ同和行為(部落差別問題を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為)など」137 人 10.3%(11.3%)、9 位「10.特に問題はない」97 人 7.3%(8.0%)、10 位「5.差別的な落書きをされること」70 人 5.3%(5.8%)、11 位「9.その他」10 人 0.8%(0.8%)、「無記入」117 人 8.8%となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、1 位「2.結婚問題で周囲の反対を受けること」が 4.8%、11 位「9.その他」が 5.2%低くなっています。「無記入」が 7.5%、2 位「11.わからない」が 2.2%、4 位「4.差別的な言動をされること」が 1.9%高くなっています。

全国調査と比べ、9 位「10.特に問題はない」が 17.0%、4 位「4.差別的な言動をされること」が 11.2%、10 位「5.差別的な落書きをされること」7.2%、6 位「3.就職・職場で不利な扱いをされること」が 10.1%低くなっています。「10.特に問題はない」が低いことは、全国調査に「11.わからない」がないことが影響していると思われます。全国との比較はやや問題がありそうです。

年齢の関連性が高く、次いで、人権に関する講演会や研修会等への参加、中学校での人権教育となっています。

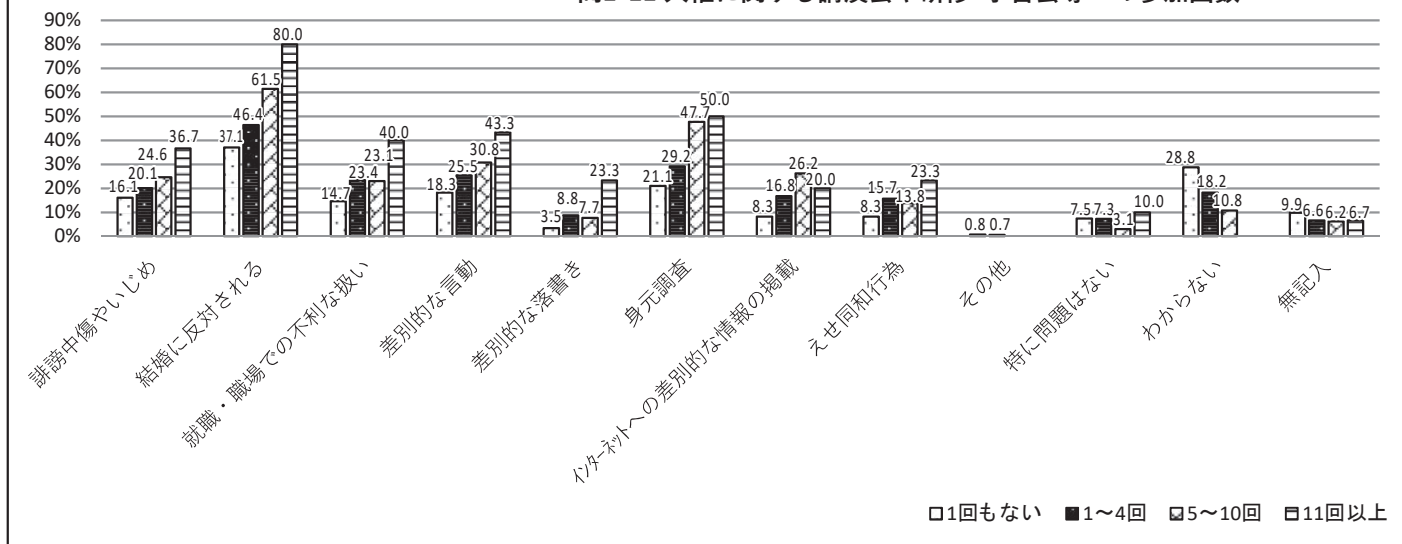
問6-4 部落差別問題（同和問題）としてどのような問題が起きていると思うか × 年齢



□18～19歳 □20～29歳 □30～39歳 ■40～49歳 □50～59歳 ■60～69歳 □70～79歳 ■80歳以上

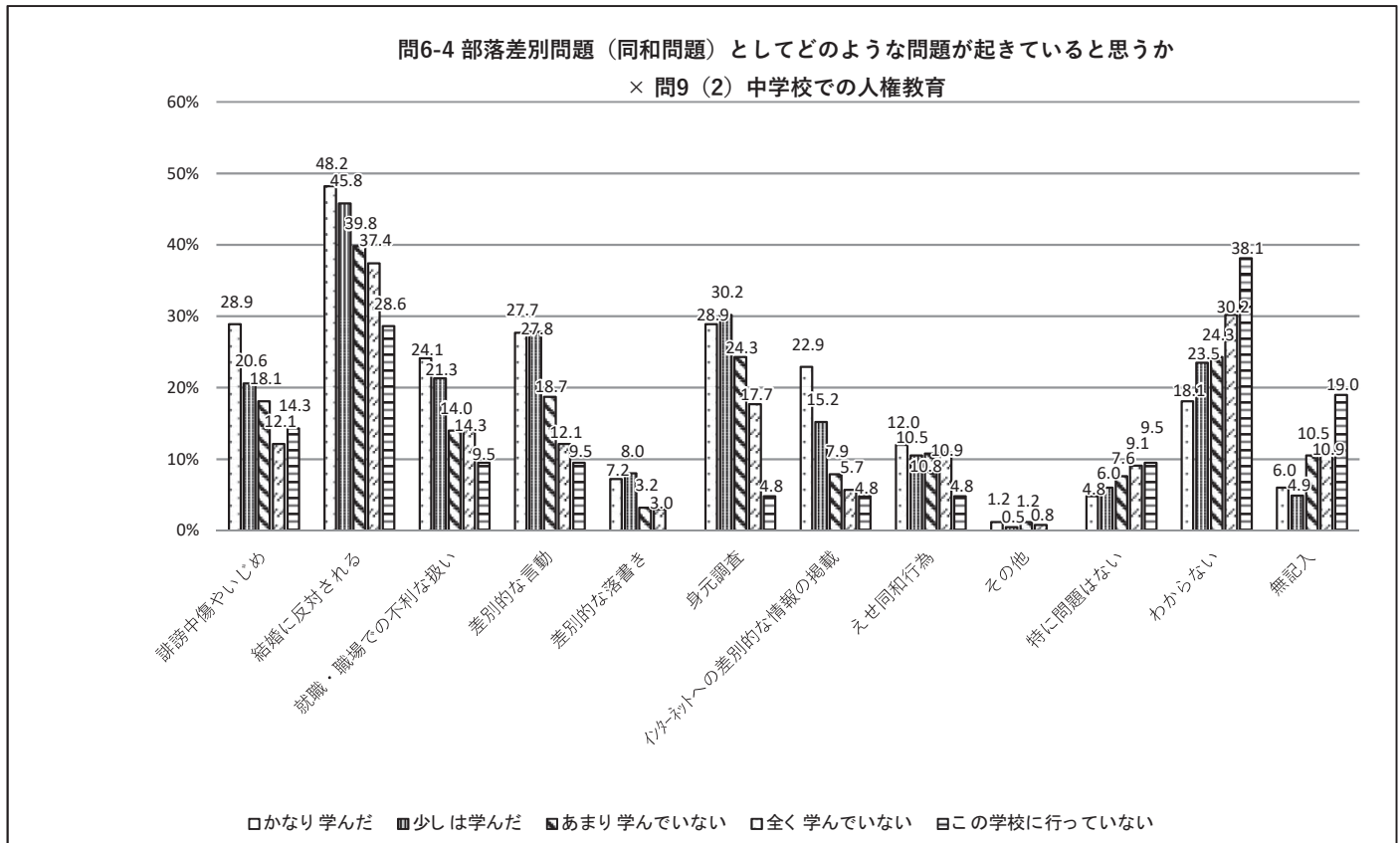
「職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること」、「結婚問題で周囲の反対を受けること」、「就職・職場で不利な扱いをされること」、「差別的な言動をされること」、「差別的な落書きをされること」、「身元調査をされること」、「インターネットを利用して差別的な情報を掲載されること」で、若い人ほど割合が高くなっています。「えせ同和行為（部落差別問題を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為）」などでは、40歳代・50歳代・60歳代で割合が高くなっています。

問6-4 部落差別問題（同和問題）としてどのような問題が起きていると思うか  
× 問1-11 人権に関する講演会や研修・学習会等への参加回数



□1回もない ■1～4回 □5～10回 □11回以上

「職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること」、「結婚問題で周囲の反対を受けること」、「就職・職場で不利な扱いをされること」、「差別的な言動をされること」、「差別的な落書きをされること」、「身元調査をされること」などの選択肢で、人権に関する研修会・学習会等の参加が多いほど割合が高くなっています。



「職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること」、「結婚問題で周囲の反対を受けること」、「就職・職場で不利な扱いをされること」、「差別的な言動をされること」、「差別的な落書きをされること」、「身元調査をされること」、「インターネットを利用して差別的な情報を掲載されること」など、ほとんどの選択肢で、中学校で人権教育を学んでいる人ほど割合が高くなっています。「えせ同和行為（部落差別問題を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為）」ではほとんど違いがありません。「特に問題はない」、「わからない」、「無記入」は人権教育を学んでいない人で高くなっています。

### 問 6-5 お子さんが被差別部落（同和地区）の人と結婚するとしたら、あなたはどうしますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない	684	44.4	46.0	40.8
2	できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない	313	20.3	21.0	21
3	反対するが、本人の意思が強ければやむをえない	130	8.4	8.7	10
4	絶対に反対する	34	2.2	2.3	2.4
5	わからない	326	21.2	21.9	21.7
	無記入	52	3.4		4.2
	N（%ベース）	1,539	100	1,487	1,996

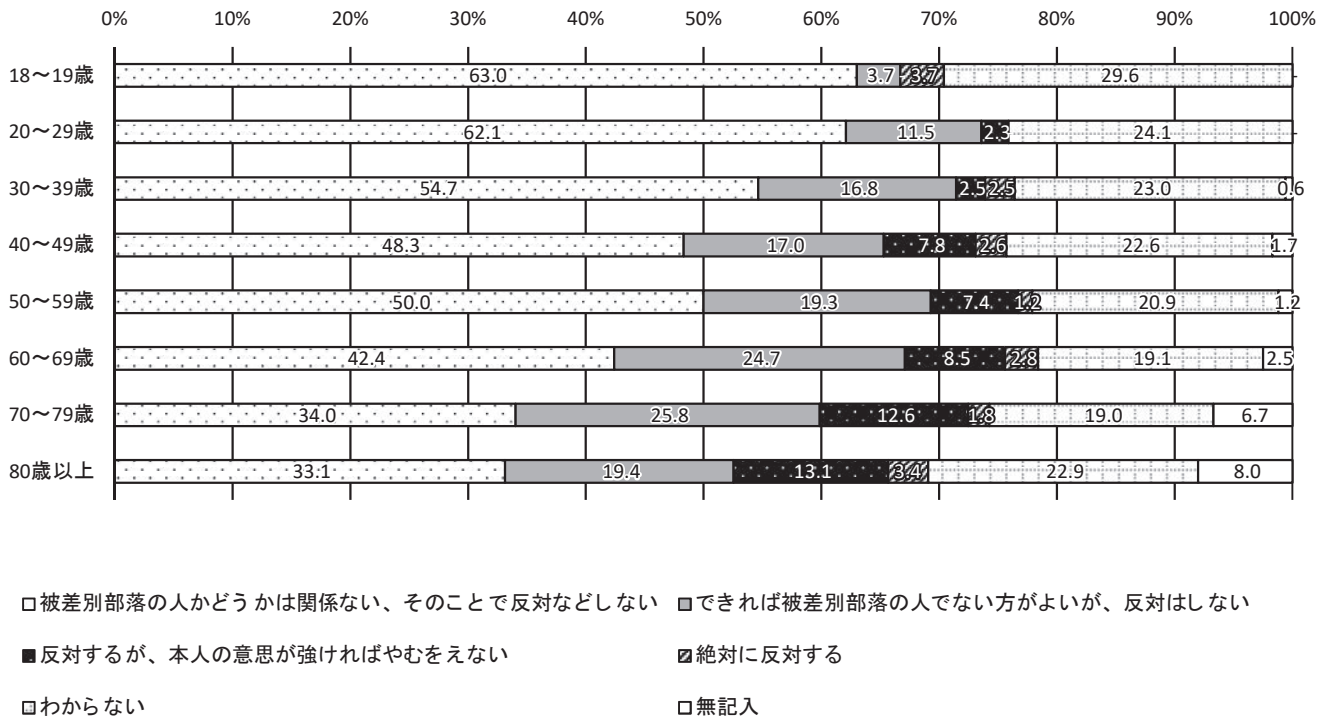
「あなたのお子さんが被差別部落（同和地区）の人と結婚するとしたら、あなたはどうしますか。お子さんがいない方はいるものと仮定して考えてください。」について、「被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」684人 44.4% (46.0%)、「できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない」313人 20.3% (21.0%)、「反対するが、本人の意思が強ければやむをえない」130人 8.4% (8.7%)、「絶対に反対する」34人 2.2% (2.3%)、「わからない」326人 21.2% (21.9%)、「無記入」52人 3.4%、となっています。（ ）内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、「被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」が 3.6%高くなっています。「反対するが、本人の意思が強ければやむをえない」が 1.6%低くなっています。

多重相関は 0.289 で分析は有効です。性別、広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるかでは有意な関連はありません。大学（短大・高専）等での人権教育を学んだかの関連性が高く、次いで人権に関する映画やビデオ、テレ

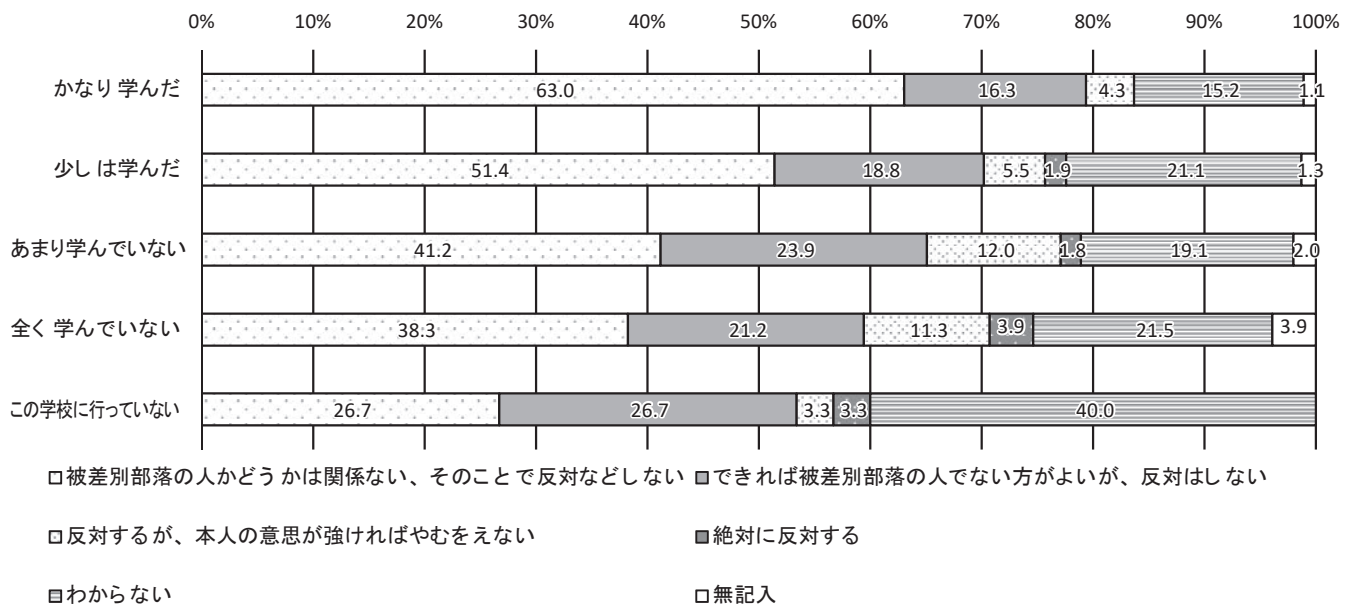


問6-5 自分の子どもが被差別部落（同和地区）の人と結婚するとしたら × 年齢



「被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」が18～19歳で63.0%、80歳以上では33.1%と若い人ほど高くなっています。「わからない」は18～19歳で29.6%と高いですが、年齢による違いはそれほど大きくはありません。

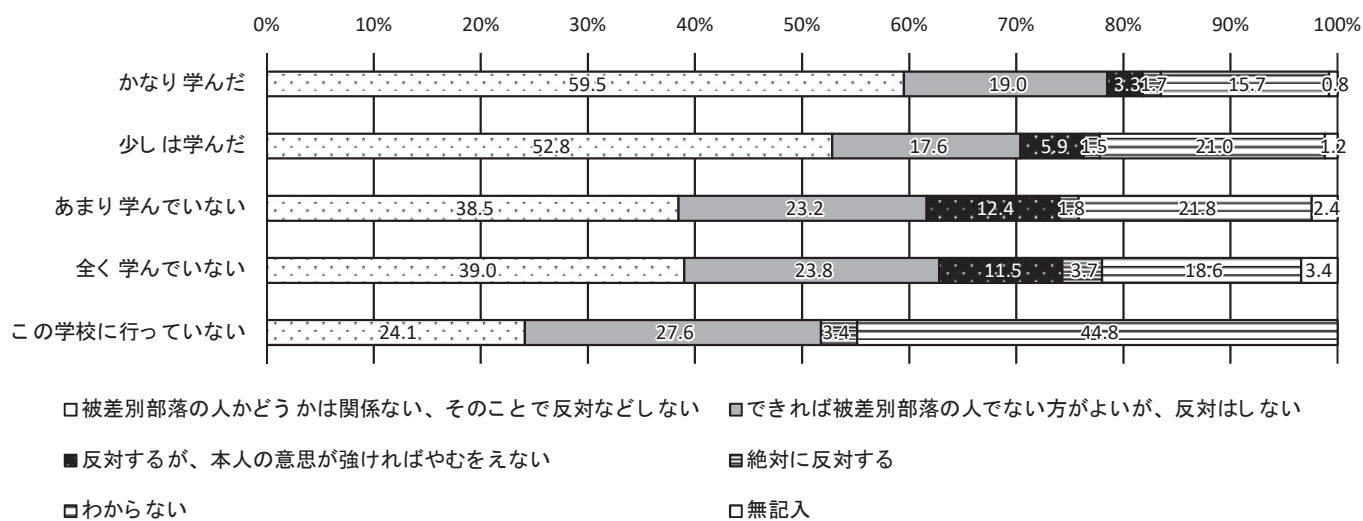
問6-5 自分の子どもが被差別部落（同和地区）の人と結婚するとしたら × 問9（2）中学校での人権教育



中学校で人権教育をかなり学んだ人では、「被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」63.0%、少しは学んだ人で51.4%、あまり学んでいない人で41.2%、全く学んでいない人で38.3%、この学校に行っていない人で26.7%と、かなりはっきりとした差があります。中学校で人権教育を学んでいる人ほど、「わからない」が少なくなっています。

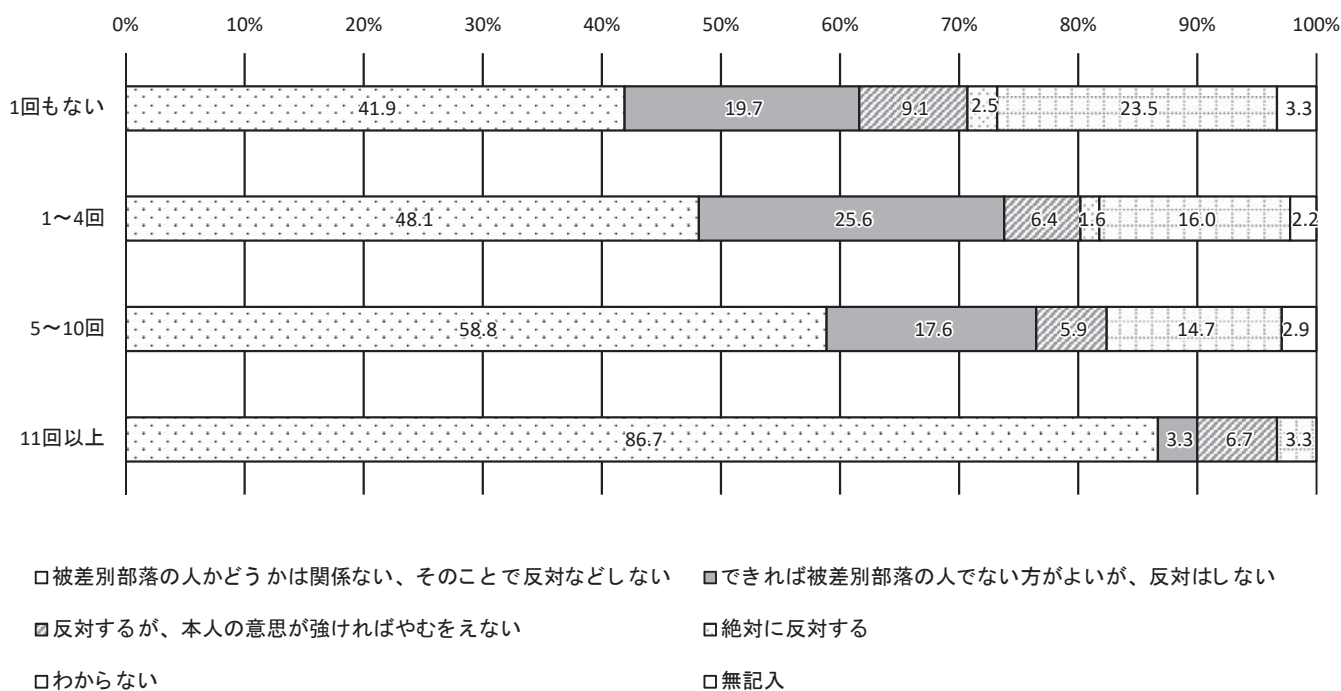


問6-5 自分の子どもが被差別部落（同和地区）の人と結婚するとしたら  
× 問9（1）小学校での人権教育



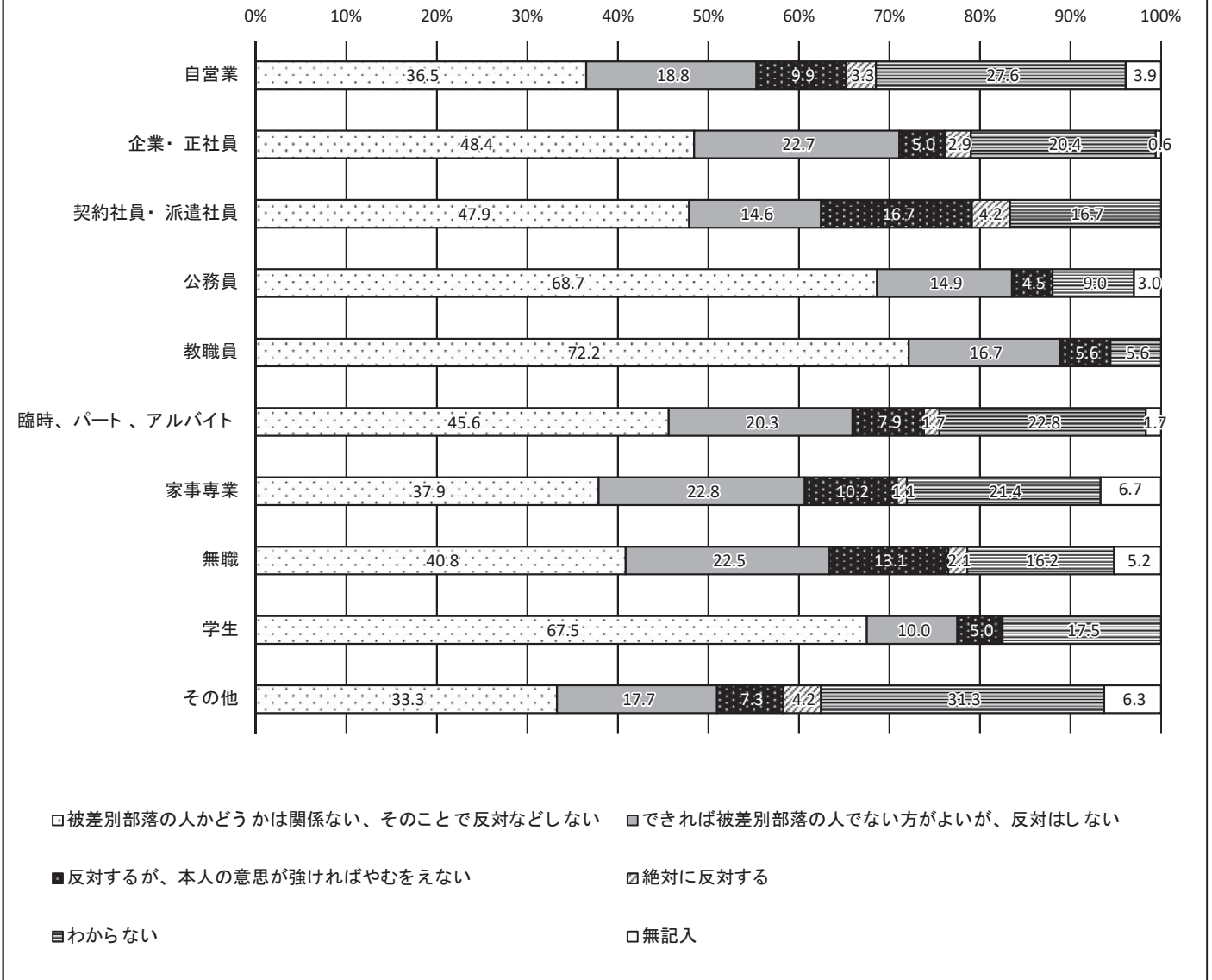
「被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」について、小学校で人権教育をかなり学んだ人では 59.5%、少しは学んだ人で 52.8%、あまり学んでいない人で 38.5%、全く学んでいない人で 39.0%、この学校に行っていない人で 24.1%と、かなりはっきりとした差があります。小学校で人権教育を学んでいる人ほど「わからない」が少なくなっています。

問6-5 自分の子どもが被差別部落（同和地区）の人と結婚するとしたら  
× 問1-11 人権に関する講演会や研修・学習会等への参加回数



人権に関する講演会や研修会等への参加について、「被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」が、11回以上参加では 86.7%、1回もない人では 41.9%と、参加が多いほど割合が高くなっています。参加が少ない人ほど「わからない」が多くなっています。

問6-5 自分の子どもが被差別部落（同和地区）の人と結婚するとしたら × 職業



「被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」が、教職員 72.2%、公務員 68.7%、学生 67.5%と高くなっています。

問 6-6 住宅を購入したり、アパートを借りるなど不動産を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に沿っていても、その他の条件により、避けることがありますか

(1) 被差別部落(同和地区)の区域内である

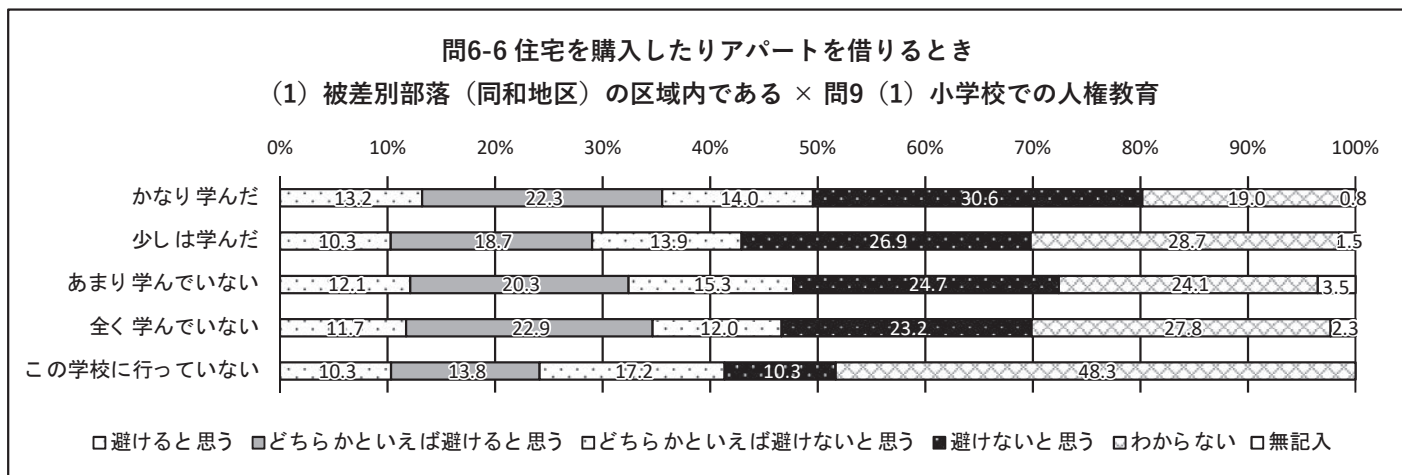
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	避けると思う	172	11.2	11.7	12.3
2	どちらかといえば避けると思う	300	19.5	20.5	21.2
3	どちらかといえば避けないと思う	203	13.2	13.9	12.9
4	避けないと思う	377	24.5	25.8	23.8
5	わからない	412	26.8	28.1	21.3
	無記入	75	4.9		8.4
	N (%ベース)	1,539	100	1,464	1,996

「あなたは、住宅を購入したり、アパートを借りるなど不動産を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に沿っていても、その他の条件により、避けることがありますか。」の(1)「被差別部落(同和地区)の区域内である」について、「避けると思う」172人 11.2%(11.7%)、「どちらかといえば避けると思う」300人 19.5%(20.5%)、「どちらかといえば

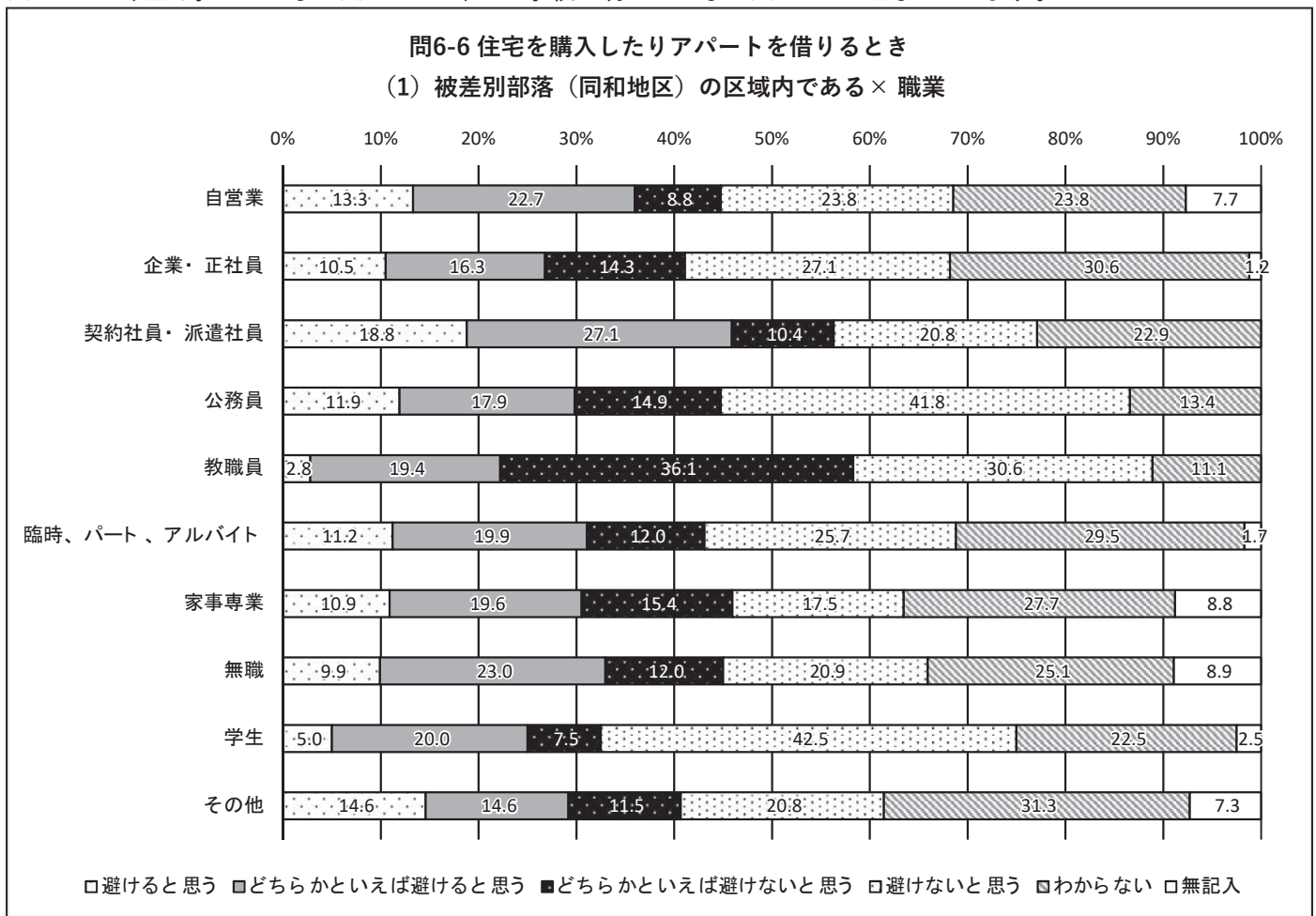
避けないと思う」203人 13.2%(13.9%)、「避けないと思う」377人 24.5%(25.8%)、「わからない」412人 26.8%(28.1%)、「無記入」75人 4.9%となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、「避けると思う」が1.1%、「どちらかといえば避けると思う」が1.7%低くなっていますが、「わからない」が5.5%高くなっています。「無記入」3.5%低くなっています。

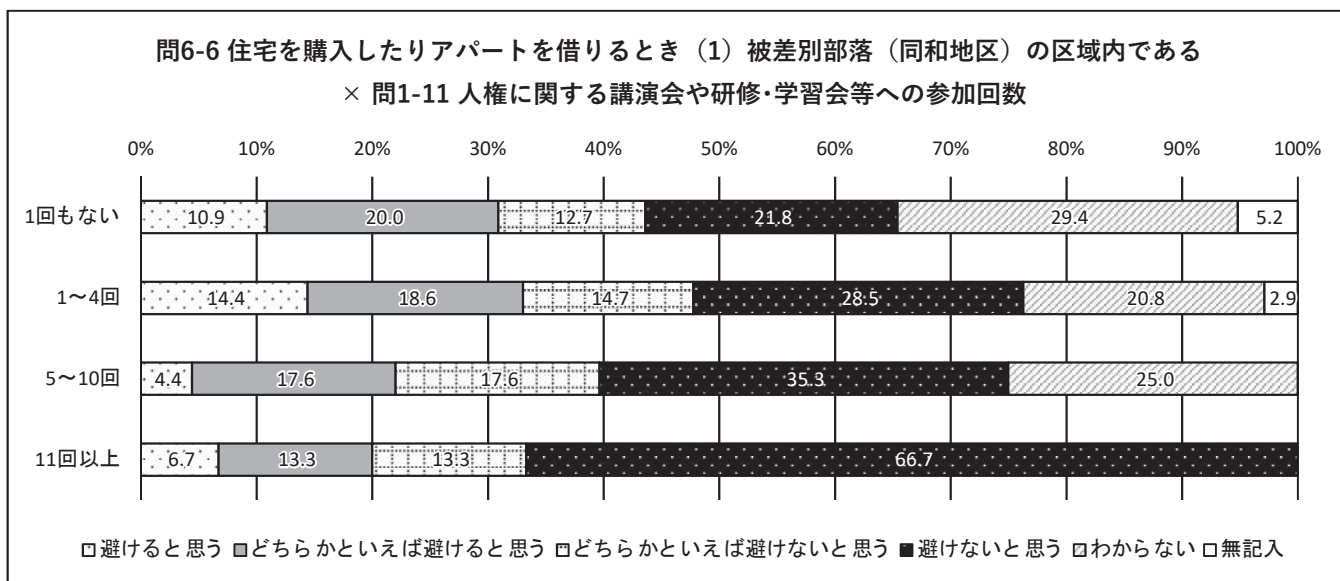
多重相関は0.254で、有意な分析です。小学校での人権教育、職業、人権に関する講演会や研修会等への参加、大学(短大・高専)等での人権教育、高校での人権教育との関連が高く、性別、広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴、中学校での人権教育では有意な関連はありません。



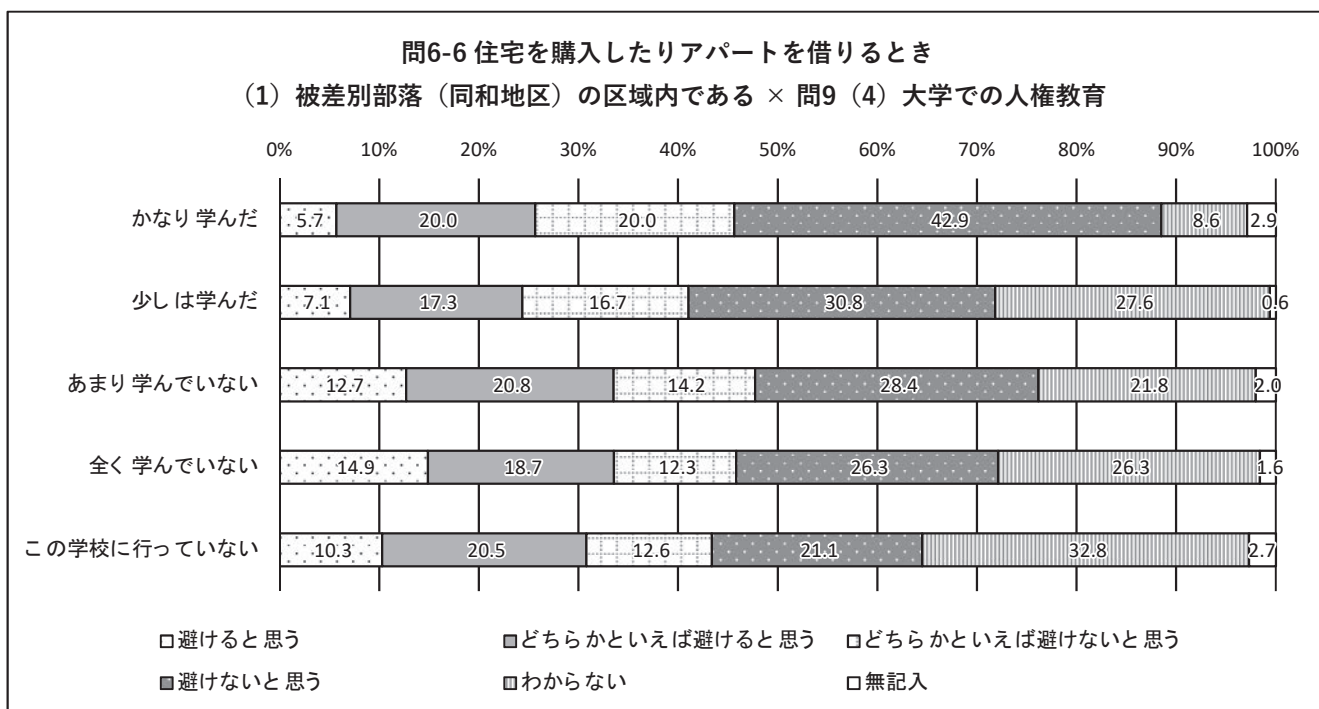
被差別部落(同和地区)の区域内である場合、「避けないと思う」が、小学校での人権教育をかなり学んだ人で30.6%、少しは学んだ人で26.9%、あまり学んでいない人で24.7%、全く学んでいない人で23.2%、この学校に行っていない人で10.3%となっています。「わからない」がかなり学んだ人で19.0%、少しは学んだ人で28.7%、あまり学んでいない人で24.1%、全く学んでいない人で27.8%、この学校に行っていない人で48.3%となっています。



「避けないと思う」が、学生で 42.5%、公務員で 41.8%、教職員で 30.6%と高くなっています。教職員で「どちらかといえば避けないと思う」が 36.1%と高くなっています。



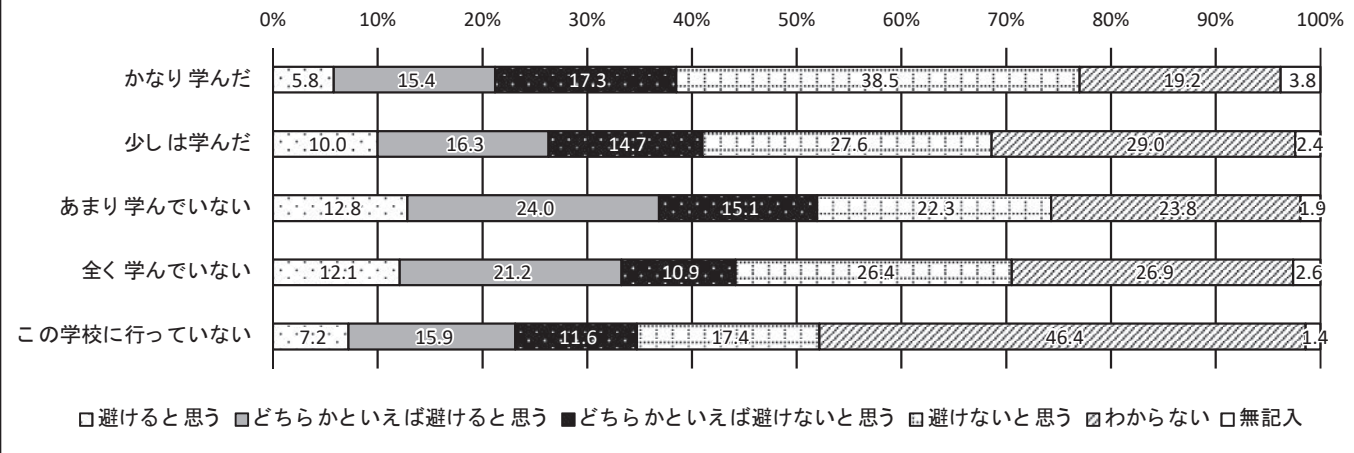
人権に関する講演会や研修会等への参加が 11 回以上の人で、「避けないと思う」が 66.7%、5~10 回の人で 35.3%、1~4 回参加した人で 28.5%、1 回もない人で 21.8%となっています。「わからない」が 11 回以上の人で 0%、5~10 回の人で 25.0%、1~4 回参加した人で 20.8%、1 回も参加したことがない人で 29.4%となっています。



被差別部落 (同和地区) の区域内である場合、「避けないと思う」が、大学 (短大・高専) 等での人権教育をかなり学んだ人で 42.9%、少しは学んだ人で 30.8%、あまり学んでいない人で 28.4%、全く学んでいない人で 26.3%、この学校に行っていない人で 21.1%となっています。「わからない」が、かなり学んだ人で 8.6%、少しは学んだ人で 27.6%、あまり学んでいない人で 21.8%、全く学んでいない人で 26.3%、この学校に行っていない人で 32.8%となっています。「避けると思う」が人権教育を学んでいるほど少なくなっています。

問6-6 住宅を購入したりアパートを借りるとき

(1) 被差別部落(同和地区)の区域内である × 問9 (3) 高校での人権教育



被差別部落(同和地区)の区域内である場合、「避けないと思う」が、高校での人権教育をかなり学んだ人で38.5%、少しは学んだ人で27.6%、あまり学んでいない人で22.3%、全く学んでいない人で26.4%、この学校に行っていない人で17.4%となっています。「わからない」がかなり学んだ人で19.2%、少しは学んだ人で29.0%、あまり学んでいない人で23.8%、全く学んでいない人で26.9%、この学校に行っていない人で46.4%となっています。「避けると思う」が人権教育を学んでいるほど少なくなっています。

(2) 小学校区が被差別部落と同じ区域になる

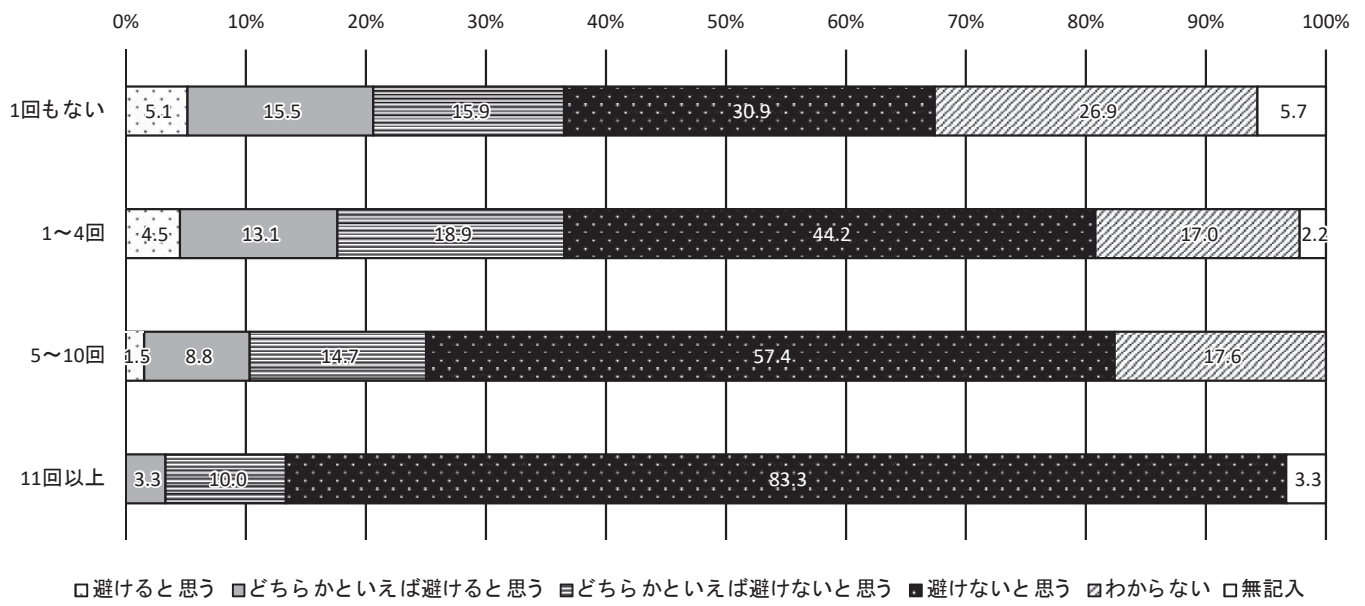
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	避けると思う	71	4.6	4.9	6.0
2	どちらかといえば避けると思う	223	14.5	15.3	14.9
3	どちらかといえば避けないと思う	250	16.2	17.1	17.0
4	避けないと思う	548	35.6	37.5	34.1
5	わからない	368	23.9	25.2	18.4
	無記入	79	5.1		9.6
	N (%ベース)	1,539	100	1,460	1,996

「あなたは、住宅を購入したり、アパートを借りるなど不動産を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に沿っていても、その他の条件により、避けることがあると思いますか。」の(2)「小学校区が被差別部落と同じ区域になる」について、「避けると思う」71人4.6%(4.9%)、「どちらかといえば避けると思う」223人14.5%(15.3%)、「どちらかといえば避けないと思う」250人16.2%(17.1%)、「避けないと思う」548人35.6%(37.5%)、「わからない」368人23.9%(25.2%)、「無記入」79人5.1%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、「避けると思う」1.4%、「どちらかといえば避けると思う」が0.4%低くなって、「避けないと思う」が1.5%高くなっています。「無記入」4.5%低くなっていますが、「わからない」が5.5%高くなっています。

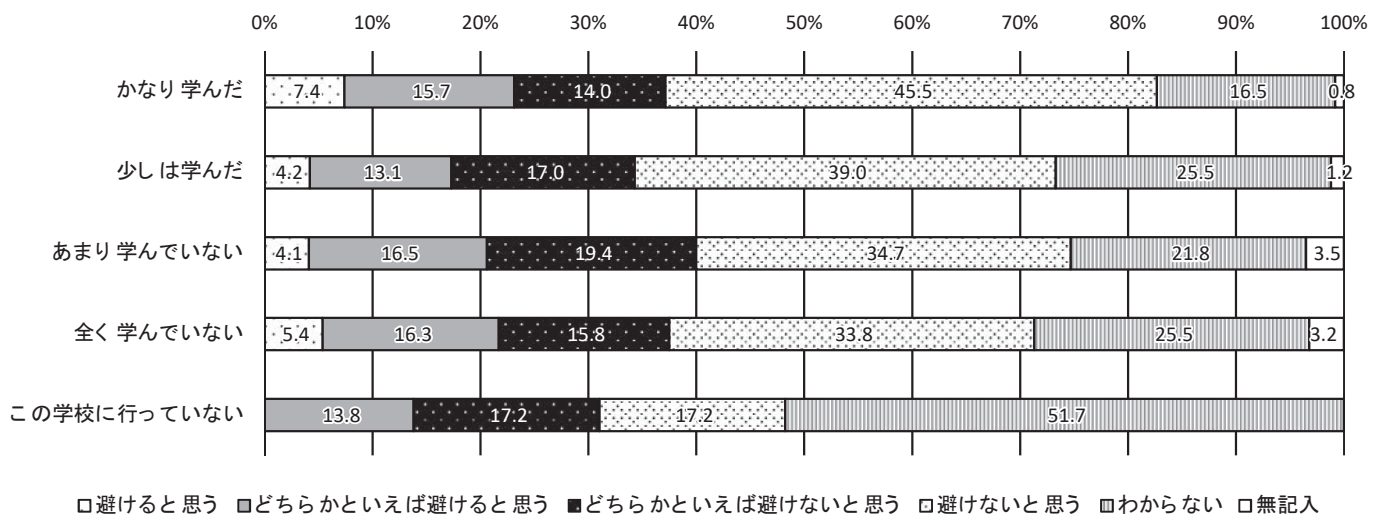
多重相関は0.305で、有意な分析です。人権に関する講演会や研修会等への参加、小学校での人権教育、職業、人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴との関連があり、性別、広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるかは有意な関連はありません。

問6-6 住宅を購入したりアパートを借りるとき (2) 小学校区が被差別部落と同じ区域になる ×  
問1-11 人権に関する講演会や研修・学習会等への参加回数



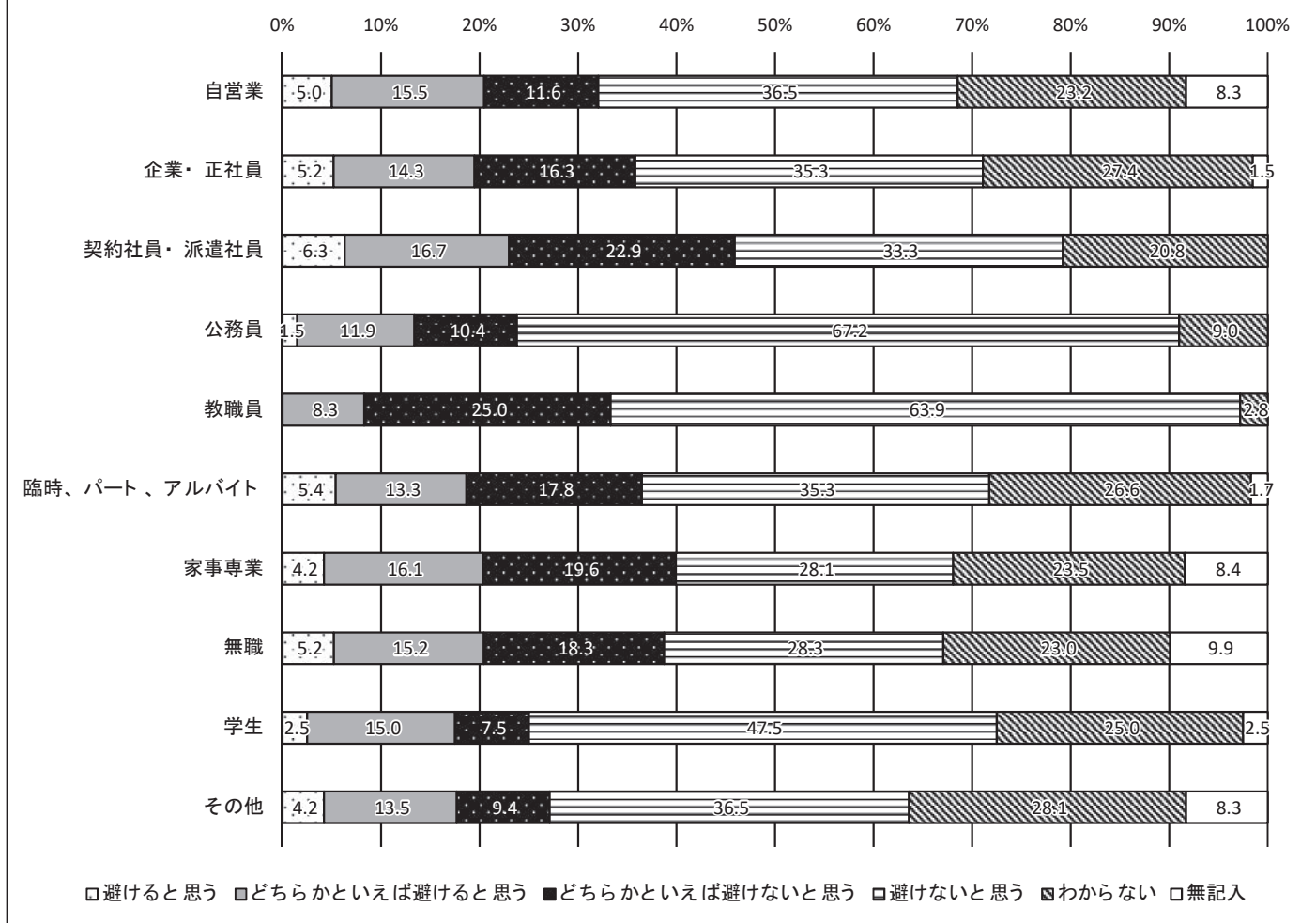
小学校区が被差別部落と同じ区域になる場合、「避けないと思う」が、この5年間で人権に関する講演会や研修会等へ11回以上参加した人では83.3%、5~10回では57.4%、1~4回では44.2%、1回もないでは30.9%となっています。「わからない」が、11回以上参加した人では0%、5~10回では17.6%、1~4回では17.0%、1回もないでは26.9%となっています。

問6-6 住宅を購入したりアパートを借りるとき  
(2) 小学校区が被差別部落と同じ区域になる × 問9 (1) 小学校での人権教育



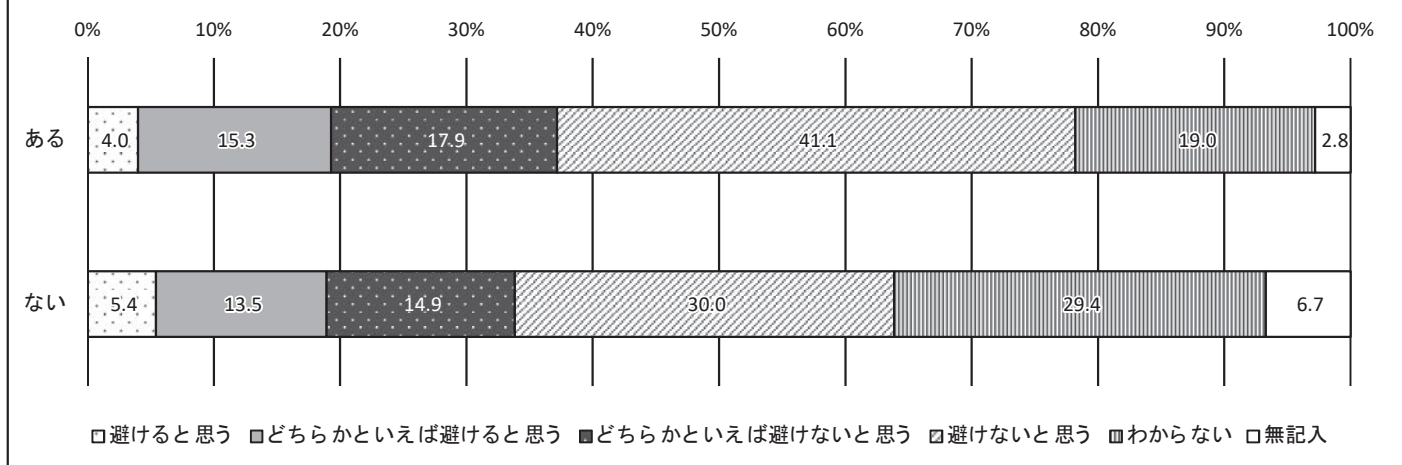
小学校区が被差別部落と同じ区域になる場合、「避けないと思う」が、小学校での人権教育をかなり学んだ人で45.5%、少しは学んだ人で39.0%、あまり学んでいない人で34.7%、全く学んでいない人で33.8%、この学校に行っていない人で17.2%となっています。「わからない」がかなり学んだ人で16.5%、少しは学んだ人で25.5%、あまり学んでいない人で21.8%、全く学んでいない人で25.5%、この学校に行っていない人で51.7%となっています。

問6-6 住宅を購入したりアパートを借りるとき  
(2) 小学校区が被差別部落と同じ区域になる× 職業



「避けないとと思う」が、公務員で 67.2%、教職員で 63.9%、学生で 47.5%と高くなっています。教職員で「どちらかといえば避けないとと思う」が 25.0%と高くなっています。

問6-6 住宅を購入したりアパートを借りるとき  
(2) 小学校区が被差別部落と同じ区域になる× 問1-10 人権に関する映画やテレビの視聴有無



この5年以内に人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴をしたことがある人で、「避けないとと思う」41.1%、視聴したことがない人で 30.0%となっています。「わからない」が、視聴をしたことがある人で 19.0%、視聴したことがない人で 29.4%となっています。

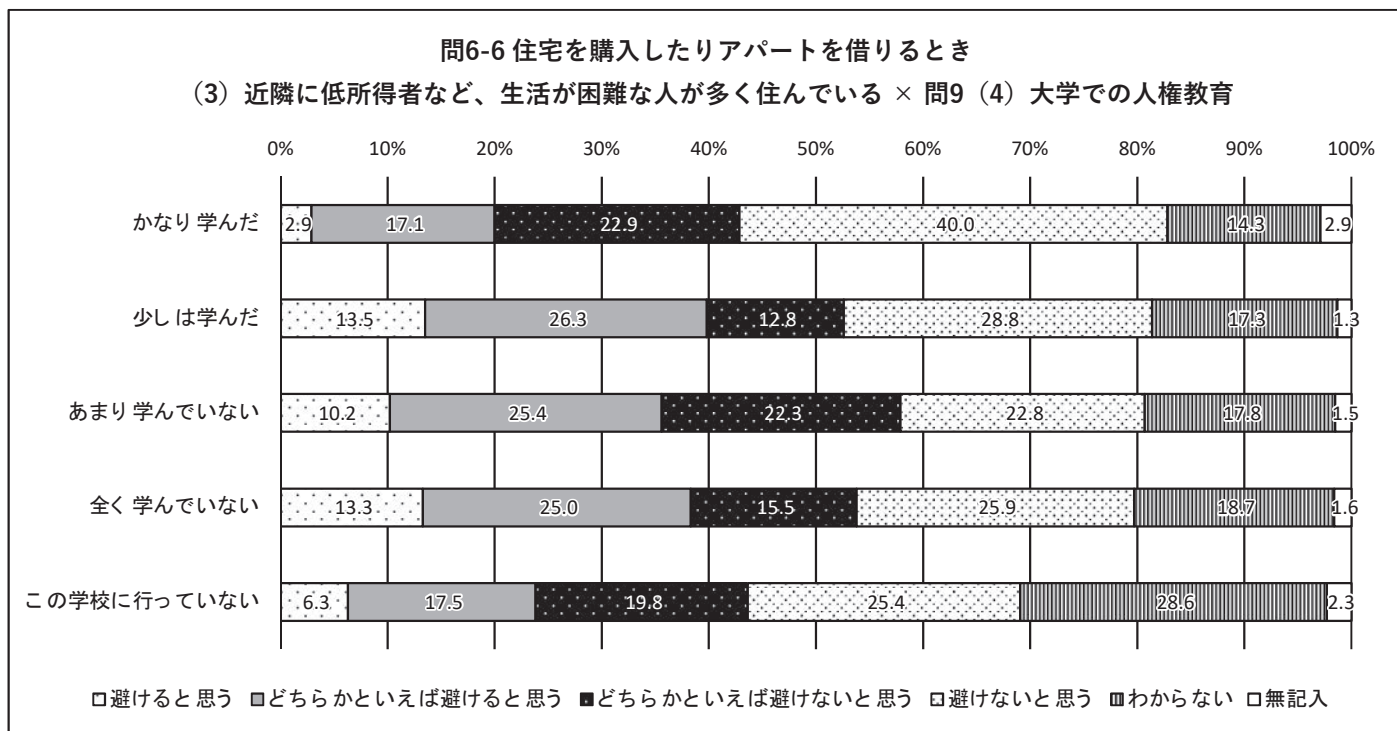
### (3) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	避けると思う	126	8.2	8.6	7.7
2	どちらかといえば避けると思う	310	20.1	21.3	21.3
3	どちらかといえば避けたくないと思う	278	18.1	19.1	17.6
4	避けたくないと思う	410	26.6	28.1	26.8
5	わからない	334	21.7	22.9	16.9
	無記入	81	5.3		9.7
	N (%ベース)	1,539	100	1,458	1,996

「あなたは、住宅を購入したり、アパートを借りるなど不動産を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に沿っていても、その他の条件により、避けることがあると思いますか。」の(3)「近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる」について、「避けると思う」126人 8.2%(8.6%)、「どちらかといえば避けると思う」310人 20.1%(21.3%)、「どちらかといえば避けたくないと思う」278人 18.1%(19.1%)、「避けたくないと思う」410人 26.6%(28.1%)、「わからない」334人 21.7%(22.9%)、「無記入」81人 5.3%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、「どちらかといえば避けると思う」が 1.2%低くなり、「わからない」が 4.8%高くなっています。「無記入」が 4.4%低くなっています。

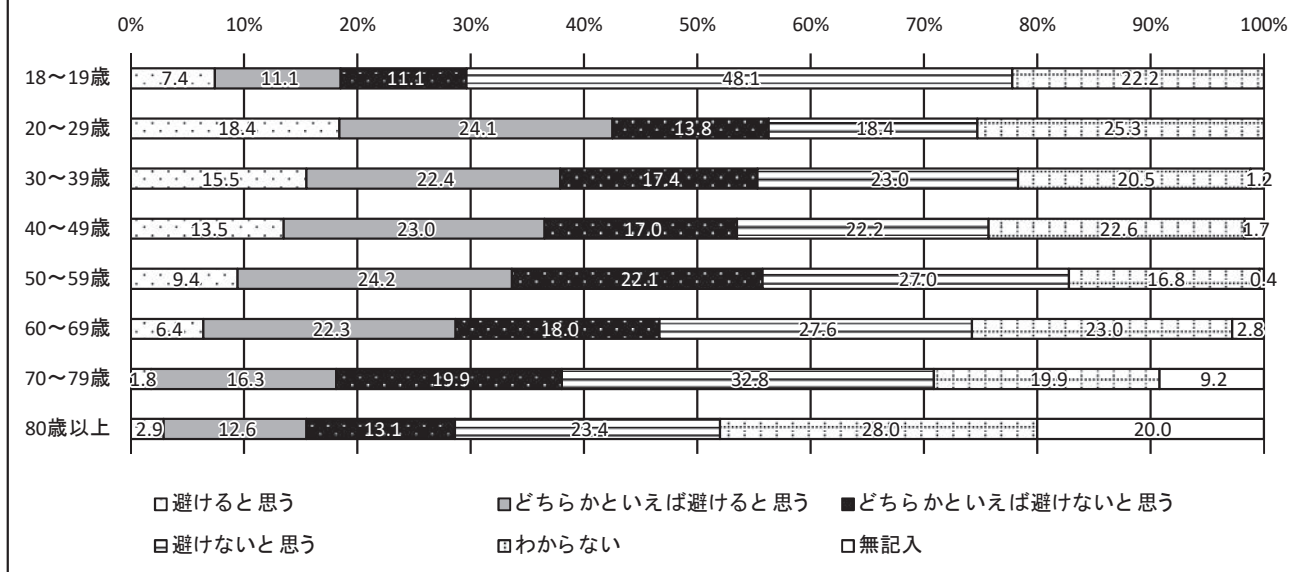
多重相関は 0.295 で、有意な分析です。大学(短大・高専)等での人権教育、年齢との関連性が高く、次いで、職業となっています。性別、広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、人権に関する講演会や研修会等への参加は有意な関連はありません。



近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる場合、「避けたくないと思う」は、大学(短大・高専)でかなり学んだ人では 40.0%、少しは学んだ人では 28.8%、あまり学んでいない人では 22.8%、全く学んでいない人では 25.9%、この学校に行っていない人では 25.4%となっています。「避けると思う」が、大学(短大・高専)でかなり学んだ人では 2.9%、少しは学んだ人では 13.5%、あまり学んでいない人では 10.2%、全く学んでいない人では 13.3%、この学校に行っていない人では 6.3%となっています。

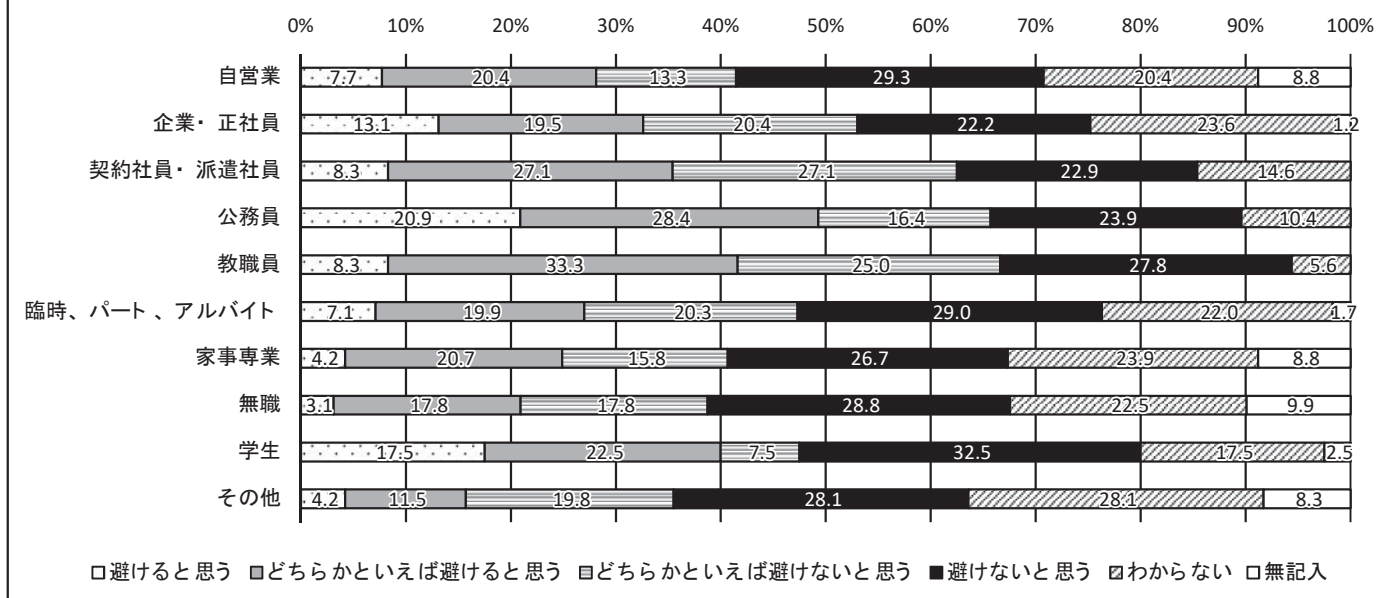


問6-6 住宅を購入したりアパートを借りるとき  
(3) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる × 年齢



「避けると思う」が、18～19歳で7.4%ですが、20歳代で18.4%と高くなり、30歳代で15.5%、40歳代で13.5%、50歳代で9.4%と低くなっています。「避けないと思う」が18～19歳で48.1%、70歳代で32.8%と高くなっています。

問6-6 住宅を購入したりアパートを借りるとき  
(3) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる × 職業



「避けると思う」が公務員で20.9%、学生で17.5%と高く、「どちらかといえば避けると思う」が教職員で33.3%と高くなっています。学生で「わからない」が32.5%と高くなっています。

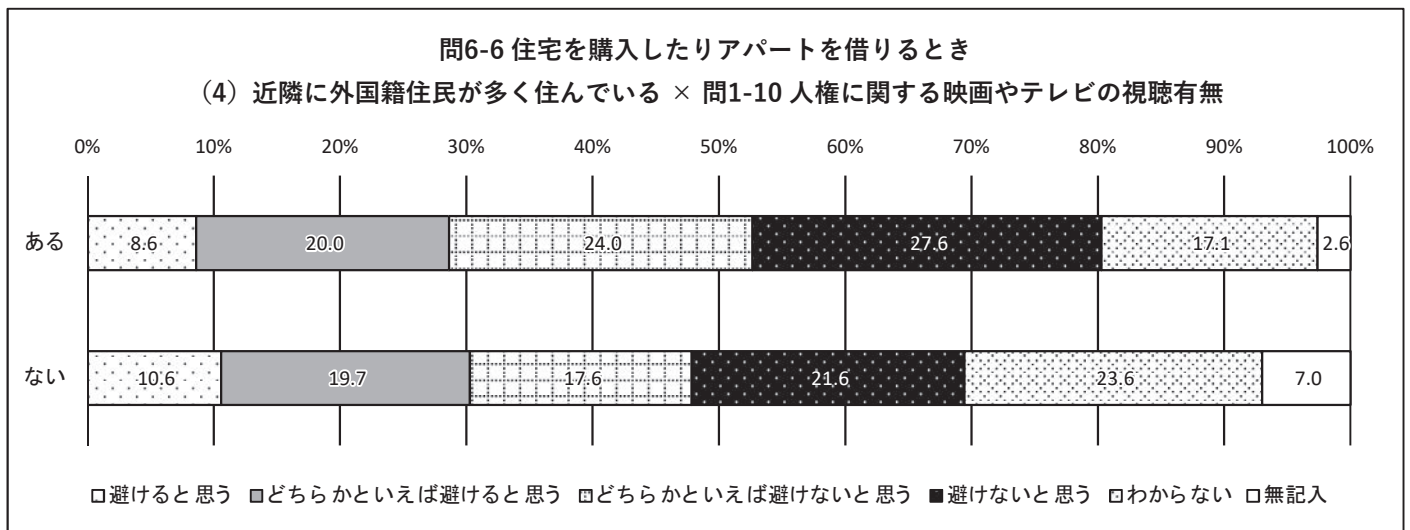
#### (4) 近隣に外国籍住民が多く住んでいる

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	避けると思う	146	9.5	10.0	10.8
2	どちらかといえば避けると思う	306	19.9	21.0	22.1
3	どちらかといえば避けないと思う	319	20.7	21.9	18.1
4	避けないと思う	377	24.5	25.8	22.9
5	わからない	311	20.2	21.3	16.3
	無記入	80	5.2		9.7
	N (%ベース)	1,539	100	1,459	1,996

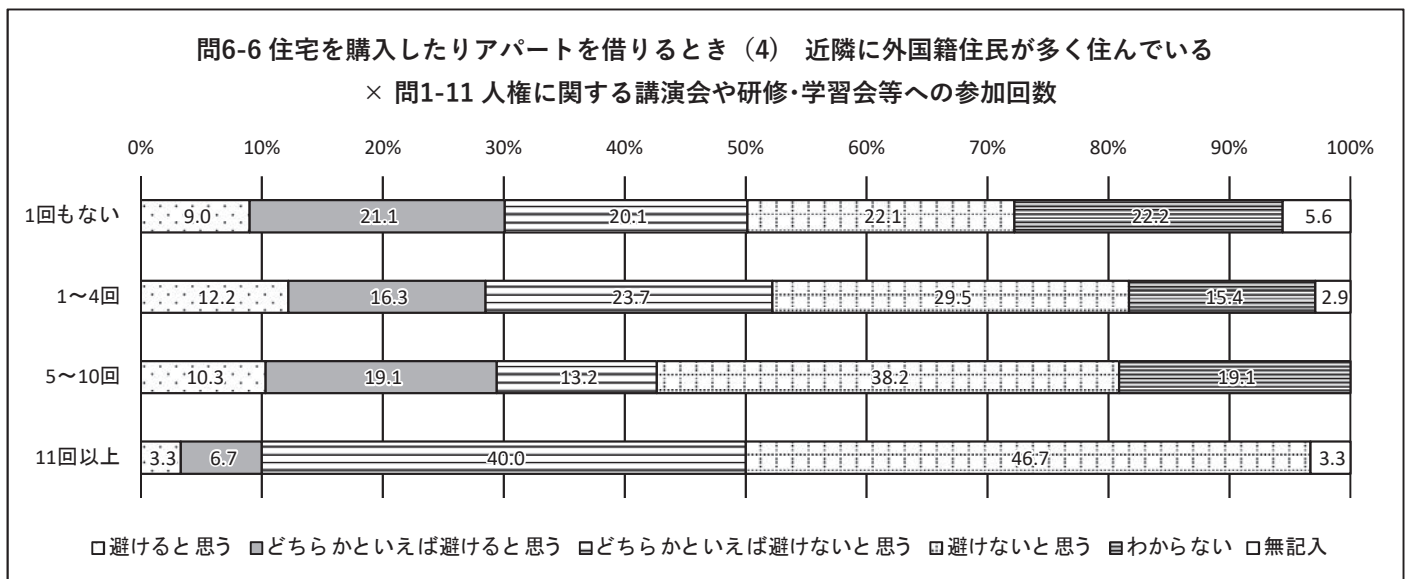
「あなたは、住宅を購入したり、アパートを借りるなど不動産を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に沿っていても、その他の条件により、避けることがありますか。」の(4)「近隣に外国籍住民が多く住んでいる」について、「避けると思う」146人 9.5%(10.0%)、「どちらかといえば避けると思う」306人 19.9%(21.0%)、「どちらかといえば避けないと思う」319人 20.7%(21.9%)、「避けないと思う」377人 24.5%(25.8%)、「わからない」311人 20.2%(21.3%)、「無記入」80人 5.2%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、「避けると思う」1.3%、「どちらかといえば避けると思う」2.2%低くなり、「どちらかといえば避けないと思う」が2.6%、「避けないと思う」が1.6%高くなっています。「わからない」が3.9%高くなっていますが、「無記入」が4.5%低くなっています。

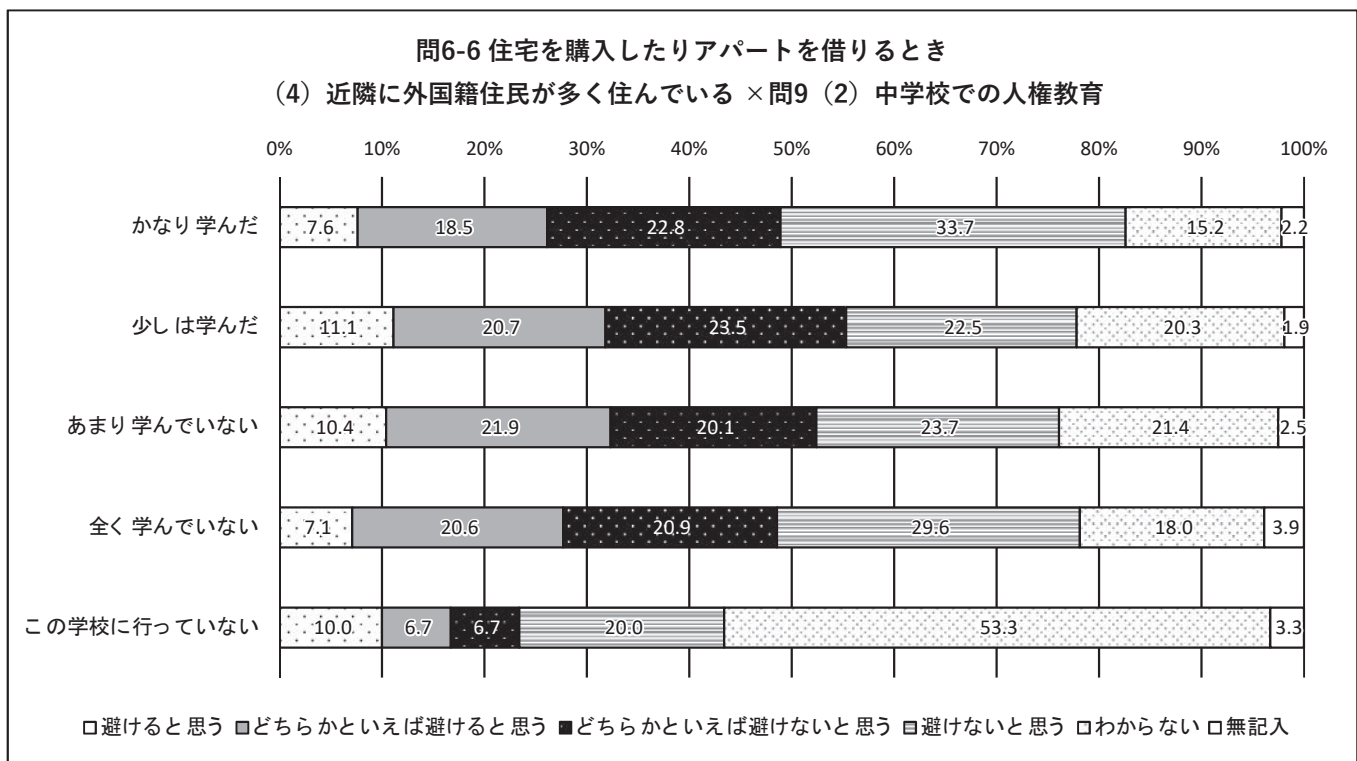
多重相関は0.251で、有意な分析です。人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴、人権に関する講演会や研修会等への参加、中学校での人権教育、大学(短大・高専)等での人権教育との関連があり、性別、職業、広報紙の人権に関する記事を読んだかは有意な関連はありません。



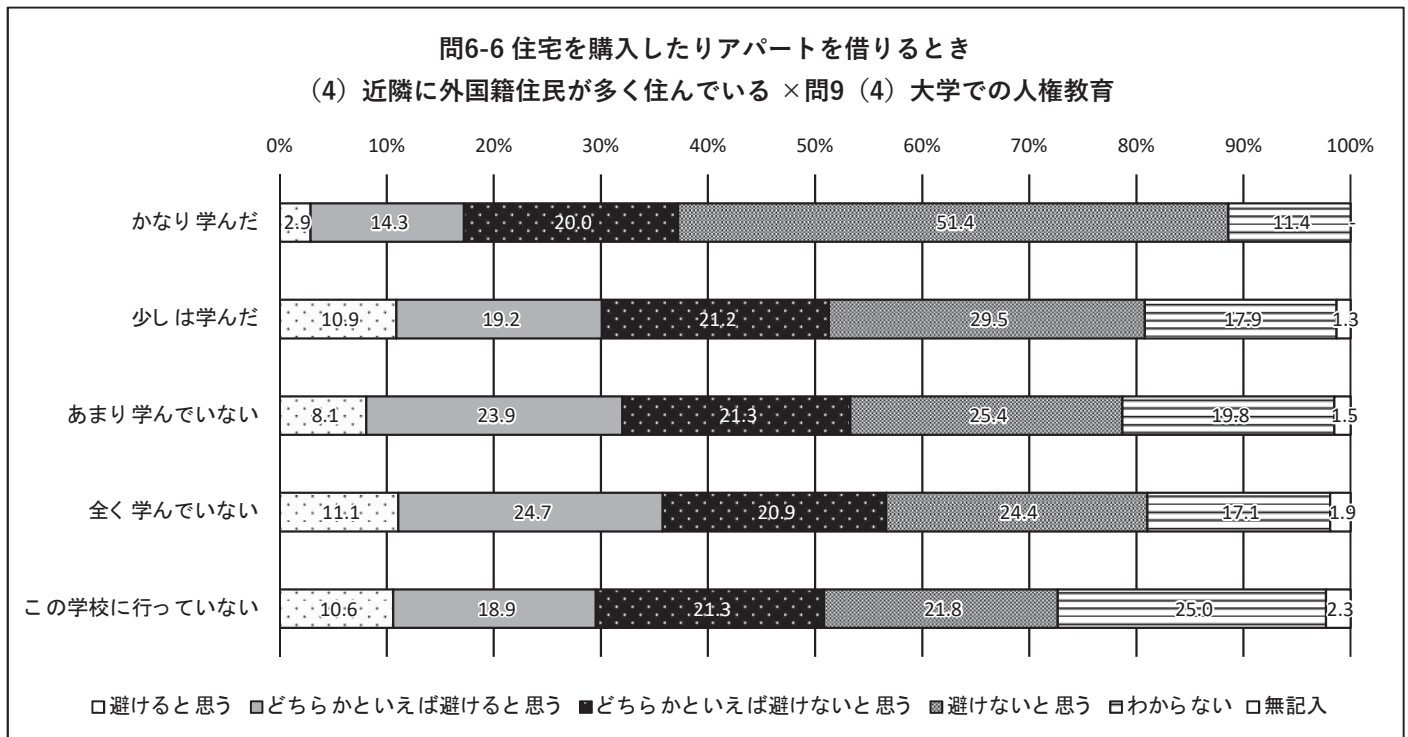
近隣に外国籍住民が多く住んでいる場合、「避けないと思う」が、この5年以内に人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴をしたことがある人では27.6%、視聴したことがない人では21.6%となっています。「どちらかといえば避けないと思う」が、視聴をしたことがある人では24.0%、視聴したことがない人では17.6%となっています。「わからない」が、視聴をしたことがある人では17.1%、視聴したことがない人では23.6%となっています。



「避けないと思う」が、この5年間で人権に関する講演会や研修会等へ11回以上参加した人では46.7%、5~10回では38.2%、1~4回では29.5%、1回もないでは22.1%となっています。「わからない」が、11回以上参加した人では0%、5~10回では19.1%、1~4回では15.4%、1回もないでは22.2%となっています。「どちらかといえば避けないと思う」が11回以上で40.0%と高く、「避けると思う」、「どちらかといえば避けると思う」が11回以上で少なくなっています。



近隣に外国籍住民が多く住んでいる場合、「避けないと思う」が、中学校での人権教育をかなり学んだ人で33.7%、少しは学んだ人で22.5%、あまり学んでいない人で23.7%、全く学んでいない人で29.6%、この学校に行っていない人で20.0%となっています。「わからない」がかなり学んだ人で15.2%、少しは学んだ人で20.3%、あまり学んでいない人で21.4%、全く学んでいない人で18.0%、この学校に行っていない人で53.3%となっています。



近隣に外国籍住民が多く住んでいる場合、「避けないと思う」が、大学(短大・高専)等での人権教育をかなり学んだ人で51.4%、少しは学んだ人で29.5%、あまり学んでいない人で25.4%、全く学んでいない人で24.4%、この学校に行っていない人で21.8%となっています。「わからない」が、かなり学んだ人で11.4%、少しは学んだ人で17.9%、あまり学んでいない人で19.8%、全く学んでいない人で17.1%、この学校に行っていない人で25.0%となっています。

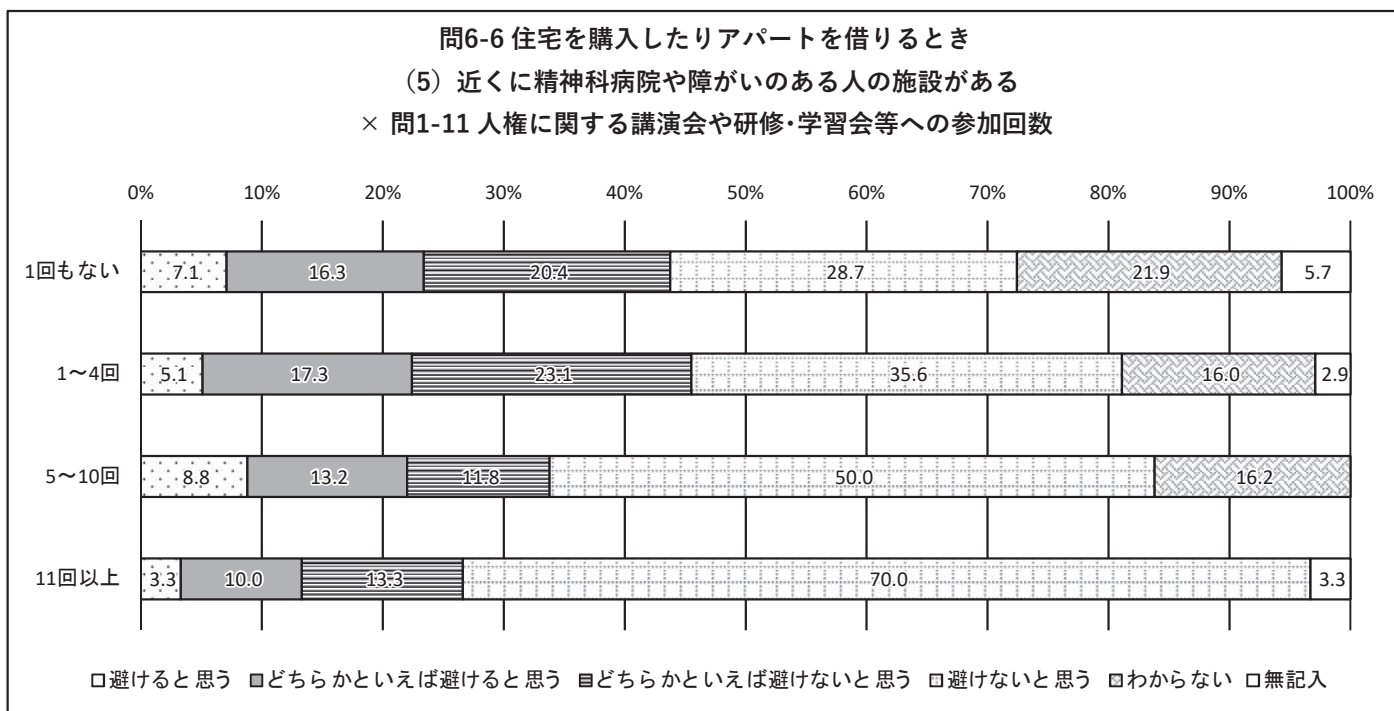
## (5) 近くに精神科病院や障がいのある人の施設がある

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	避けると思う	102	6.6	7.0	8.4
2	どちらかといえば避けると思う	252	16.4	17.3	18.6
3	どちらかといえば避けないと思う	312	20.3	21.4	19.8
4	避けないと思う	484	31.4	33.2	28.1
5	わからない	308	20.0	21.1	15.7
	無記入	81	5.3		9.5
	N (%ベース)	1,539	100	1,458	1,996

「あなたは、住宅を購入したり、アパートを借りるなど不動産を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に沿っていても、その他の条件により、避けることがありますか。」の(5)「近くに精神科病院や障がいのある人の施設がある」について、「避けると思う」102人 6.6%(7.0%)、「どちらかといえば避けると思う」252人 16.4%(17.3%)、「どちらかといえば避けないと思う」312人 20.3%(21.4%)、「避けないと思う」484人 31.4%(33.2%)、「わからない」308人 20.0%(21.1%)、「無記入」81人 5.3%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、「避けると思う」が 1.8%、「どちらかといえば避けると思う」が 2.2%低くなり、「避けないと思う」が 3.3%、「わからない」が 4.3%、高くなっています。「無記入」が 4.2%、低くなっています。

多重相関は 0.251 で、有意な分析です。人権に関する講演会や研修会等への参加、大学(短大・高専)での人権教育との関連があり、次いで、小学校での人権教育となっています。広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、人権に関する映画や、ビデオ、テレビ、ラジオの視聴、職業、高校での人権教育は有意な関連はありません。



近くに精神科病院や障がいのある人の施設がある場合、「避けないと思う」が、この5年間で人権に関する講演会や研修会等へ11回以上参加した人では70.0%、5~10回では50.0%、1~4回では35.6%、1回もないでは28.7%となっています。「わからない」が、11回以上参加した人では0%、5~10回では16.2%、1~4回では16.0%、1回もないでは21.9%となっています。